

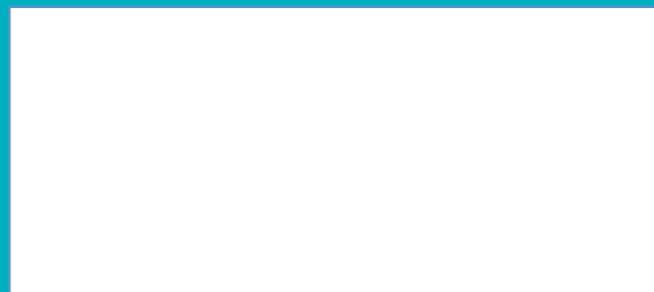
Excel-Tex

ポリマーセメント系塗膜防水材
(水和凝固型塗膜防水材)



ユニオン建材工業株式会社

本 社 〒531-0075 大阪市北区大淀南 1-5-1 ケイヒン梅田ビル 4階
TEL 06-6453-3563 FAX 06-6453-3830
東京営業所 〒140-0014 東京都品川区大井 1-45-2 ジブラルタル大井ビル 5階
TEL 03-6429-8346 FAX 03-6429-8347
<https://e-union.co.jp>



2025.11.7,000



ユニオン建材工業株式会社

人と環境にやさしく、安全性の高い 塗膜防水材、土木資材を通して、未来を築く。

ユニオン建材工業は1981年の設立以来、「環境」と「安全」に軸足を置いた製品開発を行ってきました。

ポリマーセメント系塗膜防水のエクセルテックスは、屋内外・地下・水槽用として広く採用され、

建築・土木分野で確固たる信頼を築いています。

さらに時代の流れとともに多様化するニーズへ柔軟にお応えするため、製品開発にも注力しており

特殊な補強布や通気緩衝資材などの副資材、各種仕上材や保護材との組み合わせによって、

通気緩衝工法、遮熱工法、防水・防食複合工法などの展開も確立してきました。

今後も、多様化する建築・土木分野の防水用途において、

人と建築の未来に貢献する製品開発を行ってまいります。

進化し続けるユニオン建材工業とエクセルテックス防水に、どうぞご期待ください。

Contents

- 3 エクセルテックスの特長
- 5 エクセルテックスの適用部位
- 7 屋外・屋内防水工法①
- 9 屋外・屋内防水工法②
- 11 屋外・屋内防水工法③
- 13 屋外・屋内防水工法④
- 15 通気緩衝工法 TK
- 17 通気緩衝工法 MT
- 19 通気緩衝工法 NW
- 21 水槽類・地下防水工法
- 23 防水・防食複合工法
- 25 各部の標準納まりと下地処理
- 26 タキストロンとの複合防水システム
- 27 防水塗膜性能
- 29 製品性状
- 34 改修工事に使用するメリット
- 35 ELシステム [エポキシライニング]
- 37 実績例



エクセルテックス防水材は、
主にコンクリート・モルタルに塗布し柔軟かつ強靭で
バランスの取れた防水塗膜を形成します。

エクセルテックス防水材は、有機溶剤などを含まない環境に優しいポリマーセメント系塗膜防水材です。

現場で、高分子エマルジョンからなる主材と、アルミナセメント系特殊配合セメントからなる硬化材を調合し使用します。耐久性抜群の防水メンブレン形成システムによる環境汚染のない安全作業工法で、「環境」と「安全」というキーテクノロジーをおして社会に貢献します。

Excel-Tex の特長

優れた作業性

湿った下地でも施工が可能なので、工期の短縮を図ることができ、さらに雨仕舞も簡単で作業性に優れています。

優れた安全性

引火性・可燃性成分を含んでいないので、火災や中毒の心配がなく、安全な作業環境の維持が可能です。

優れた追従性

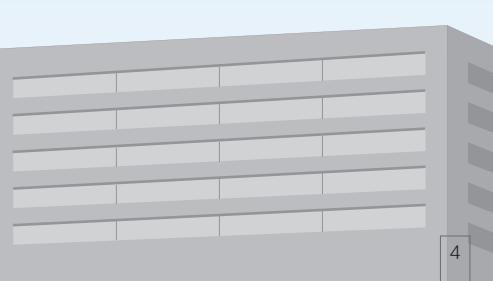
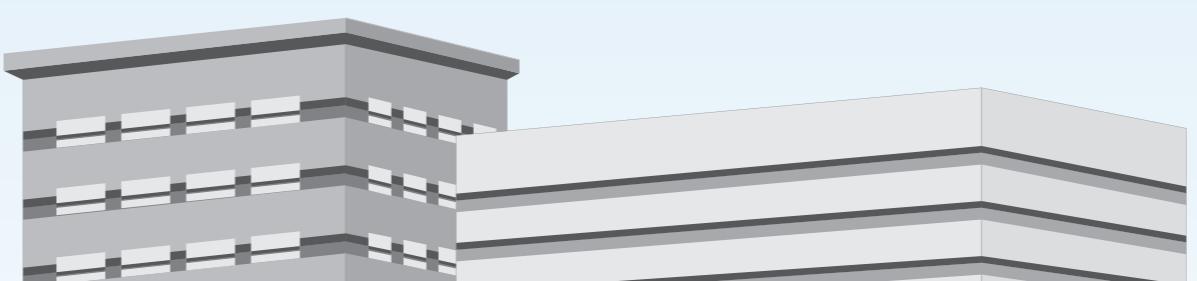
塗膜に弾力性があり、しかも強靭なので、下地キレツの追従性に優れています。

強力な 耐久接着性

コンクリートをはじめ各種下地に対して強力な耐久接着性があります。

優れた 劣化防止性

オゾンや紫外線などによる経時変化への対応に優れています。また、中性化防止機能性、耐塩害性、耐酸性雨性などの機能を備え、躯体の保護に効果があります。



適用部位

エクセルテックスは、施工性・経済性に優れた オールマイティな防水材です。

エクセルテックス防水は、多様化する建築・土木分野の防水用途に幅広くご使用いただける、防水工法をご用意しております。

サッシ廻り 屋外・屋内防水工法①・②(P8・10)



庇
屋外・屋内防水工法①(P8)

ベランダ 屋外・屋内防水工法①・②・③・④(P8・10・12・14)



汚水槽 防水・防食複合工法(P24)
ELシステム(P36)



雨水貯留槽 水槽類・地下防水工法(P22)



室内防水
(OAフロア
トレチピット
浴室・厨房
トイレ)
屋外・屋内防水工法
①・②・③・④
(P8・10・12・14)

水槽
(防火水槽
飲料用水槽)
水槽類・地下防水工法(P22)
防水・防食複合工法(P23・24)
ELシステム(P35・36)

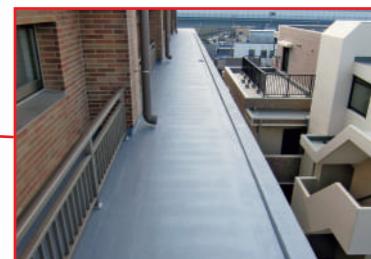
※RC造の建築物を標準とします。
(RC造以外の下地の場合はご相談ください。)

屋上・急勾配屋根

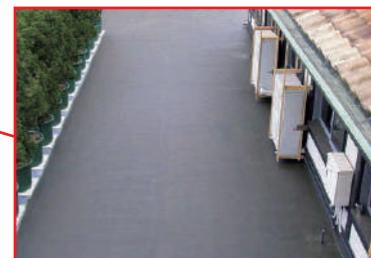
屋上 通気緩衝工法(TK・MT・NW) (P16・18・20)
屋外・屋内防水工法②・③・④ (P10・12・14)
急勾配屋根 屋外・屋内防水工法①・②・③・④ (P8・10・12・14)



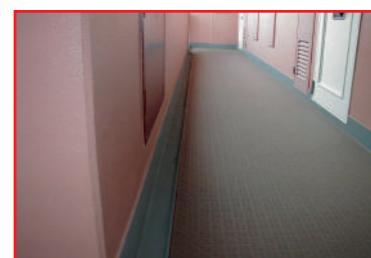
大庇 屋外・屋内防水工法②・③・④ (P10・12・14)



ルーフバルコニー 屋外・屋内防水工法②・③・④ (P10・12・14)
通気緩衝工法(MT) (P18)



開放廊下(側溝+幅木) タキストロンとの
複合防水システム(P26)

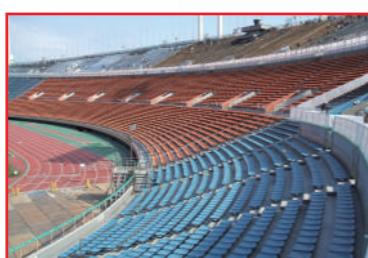


地下外壁 水槽類・地下防水工法(P22)

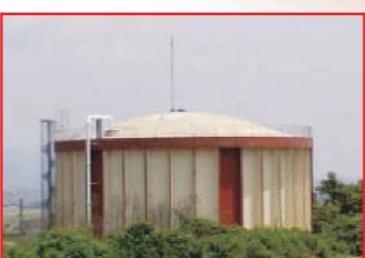
金属屋根(折板・瓦棒)・スレート屋根には
『エクセルテックスBBシステム』で
対応いたします。



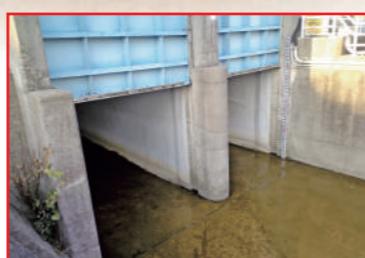
アンダーパス



スタンド



配水池



水路



動物園(水槽・池)

屋外・屋内防水工法①

ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説 PA-1仕様適合／日本建築学会

防水層平均厚み 0.8mm



屋外・屋内防水工法①は、小規模なベランダ・庇などの施工部位や比較的挙動の小さい部位に適用します。

また、サッシ廻りをはじめ切付部の防水処理などにも対応いたします。

乾燥時間の目安(乾燥時間(hr)気温20°C・60%RH)

プライマー	防水材	仕上塗料
0.5~1	2~6	1~6 ^(注)

(注)施工後24時間程度雨にかかるないように養生してください。

*水張り試験は最終工程終了後、7日間以上養生した上で、行ってください。

*乾燥時間は、施工環境(風通し等)によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程にお進みください。

施工可能面積(m²)

工 法	ET-100/ET-1号	ET-25	ET-35	ET-45	ET-15	BBトップクールAU
	(1セット)	(1缶)	(1缶)	(1セット)	(1缶)	(1セット)
104	—	—	—	—	—	—
105	40	—	—	—	—	—
106	20	—	—	—	—	—
106U	—	50	—	—	—	—
106S	—	—	50	—	—	—
106F	—	—	—	37.5	—	—
106C	—	—	—	—	—	50

ETプライマーの施工可能面積は、16kg缶で160m²、3kgポリ容器[ケース]で30m²です。

*ET-100/ET-1号の()内はETプライマー使用時の場合は。

標準配合比(重量比)

プライマー

	ET-100	ET-1号	ETプライマー	水	塗布量(kg/m ²)
トモプライマー	18	14	—	28	0.30
ETプライマー16kg	—	—	16	16	0.20
ETプライマー3kg	—	—	3	3	0.20

トモプライマー：防水材の主材と硬化材を水で希釈し用いるプライマー
●下地の種類によりプライマーを使い分けてください。P27[各種部材への付着とプライマーの選択]でご確認ください。

防水

	ET-100	ET-1号	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
防水塗材A	18	14	2	0.85

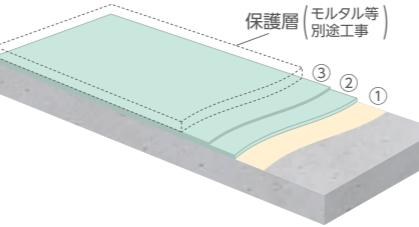
●気温 5°C以下の施工は避けてください。

●詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

104工法

適用部位

- ひさし
- OAフロア
- ベランダ
- サッシ廻り
- トレンチピット
- トイレ



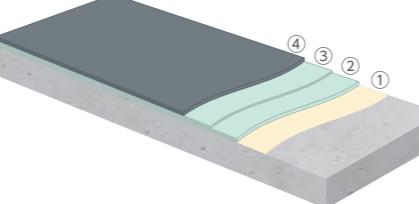
	kg/m ²	配合 (kg /m ²)		
		ET-100	ET-1号	水
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	0.05
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	0.05
合計	2.00	0.99	0.77	0.24

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

105工法

適用部位

- ベランダ
- ひさし
- 幅木
- トレンチピット
- OAフロア
- 側溝



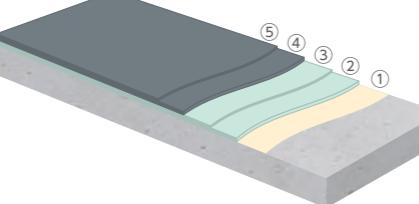
	kg/m ²	配合 (kg /m ²)			
		ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
合計	2.55	0.99	0.77	0.50	0.29

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

106工法

適用部位

- ベランダ
- ひさし
- 幅木
- 開放廊下
- 外部階段
- 側溝



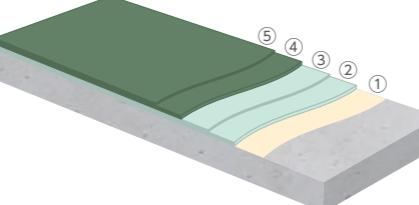
	kg/m ²	配合 (kg /m ²)			
		ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
⑤トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
合計	3.10	0.99	0.77	1.00	0.34

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

106U工法

適用部位

- ベランダ
- 開放廊下
- 外部階段
- ひさし
- 幅木



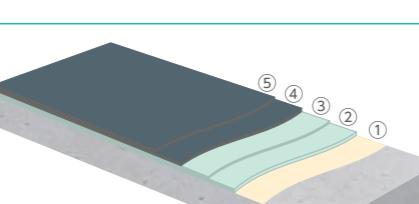
	kg/m ²	配合 (kg /m ²)			
		ET-100	ET-1号	ET-35	水
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④ウレタントップ	0.17	—	—	0.16	0.01
⑤ウレタントップ	0.17	—	—	0.16	0.01
合計	2.34	0.99	0.77	0.30	0.26

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

106S工法

適用部位

- ベランダ
- 開放廊下
- 外部階段
- ひさし
- 幅木
- 急勾配屋根



	kg/m ²	配合 (kg /m ²)			
		ET-100	ET-1号	ET-45	水
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
②防水					

屋外・屋内防水工法②[補強布入り]

ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説 PA-2仕様適合／日本建築学会

防水層平均厚み 1.1mm



屋外・屋内防水工法②は、エクセルテックス防水材と補強布を一体化させた密着工法です。

防水塗膜の補強効果に優れ、防水層の同時破断あるいはクリープ破断の低減効果があります。

下階に居室がある施工部位に適用します。

乾燥時間の目安(乾燥時間(hr)気温20°C・60%RH)

プライマー	防水材	仕上塗料
0.5~1	2~6	1~6 ^(注)

(注)施工後24時間程度雨にからないように養生してください。

*水張り試験は最終工程終了後、7日間以上養生した上で、行ってください。

*乾燥時間は、施工環境(風通し等)によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程にお進みください。

施工可能面積(m²)

工 法	ET-100/ET-1号	補強布 (1巻)	ET-25	ET-35	ET-45	ET-15	BBトップクールAU
	(1セット)		(1缶)	(1缶)	(1セット)	(1缶)	(1セット)
100			—	—	—	—	—
101			40	—	—	—	—
102			20	—	—	—	—
102U			—	50	—	—	—
102S			—	—	50	—	—
102F			—	—	—	37.5	—
102C			—	—	—	—	50

ETプライマーの施工可能面積は、16kg缶で160m²、3kgボリ容器【ケース】で30m²です。

*ET-100/ET-1号の()内はETプライマー使用時の場合です。

標準配合比(重量比)

プライマー

	ET-100	ET-1号	ETプライマー	水	塗布量(kg/m ²)
トモプライマー	18	14	—	28	0.30
ETプライマー 16kg	—	—	16	16	0.20
ETプライマー3kg	—	—	3	3	0.20

トモプライマー：防水材の主材と硬化材を水で希釈し用いるプライマー

●下地の種類によりプライマーを使い分けください。P27「各種部材への付着とプライマーの選択」をご確認ください。

防水

	ET-100	ET-1号	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
防水塗材B	18	14	4	0.90
防水塗材A	18	14	2	0.85

●気温 5°C以下の施工は避けてください。

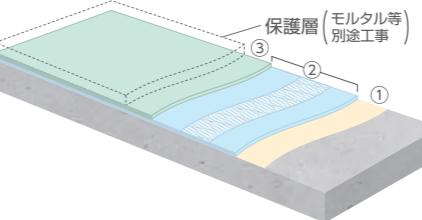
●降雨・降雪・強風等の場合又は予想される場合は施工を中止してください。

●詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

100工法

適用部位

- 屋上
- トイレ
- 急勾配屋根
- 開放廊下
- ルーフバルコニー
- OAフロア
- サッシ廻り
- ベランダ
- 厨房
- 浴室
- トレンチピット



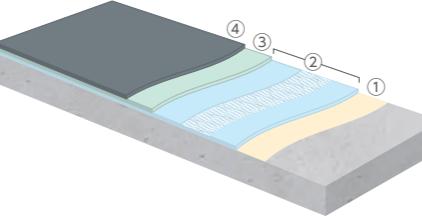
	kg/m ²	配合 (kg/m ²)		
		ET-100	ET-1号	水
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	0.14
④防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)			
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	0.05
合計	2.95	1.44	1.12	0.39

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

101工法

適用部位

- 屋上
- OAフロア
- 急勾配屋根
- ルーフバルコニー
- ベランダ
- (下階居室有)
- 大庇
- 開放廊下
- トレンチピット



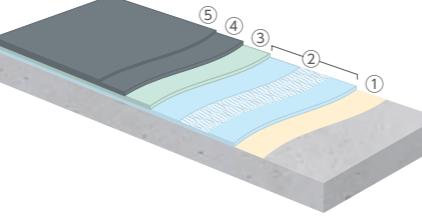
	kg/m ²	配合 (kg/m ²)		
		ET-100	ET-1号	ET-25
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	—
④防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)			
③防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—
④トップコート	0.55	—	—	0.50
⑤トップコート	0.55	—	—	0.50
合計	3.50	1.44	1.12	0.50

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

102工法

適用部位

- 屋上
- 急勾配屋根
- ルーフバルコニー
- ベランダ
- (下階居室有)
- 大庇
- 開放廊下



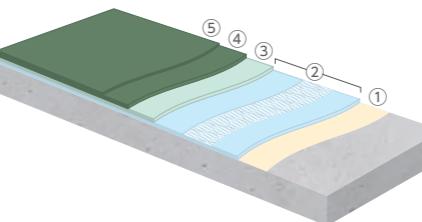
	kg/m ²	配合 (kg/m ²)		
		ET-100	ET-1号	ET-25
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	—
④防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)			
③防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—
④トップコート	0.55	—	—	0.50
⑤トップコート	0.55	—	—	0.50
合計	4.05	1.44	1.12	0.49

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

102U工法

適用部位

- 屋上
- 急勾配屋根
- ルーフバルコニー
- ベランダ
- (下階居室有)
- 大庇



	kg/m ²	配合 (kg/m ²)		
		ET-100	ET-1号	ET-35
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	—
④防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)			
③防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—
④ウレタントップ	0.17	—	—	0.16
⑤ウレタントップ	0.17	—	—	0.16
合計	3.29	1.44	1.12	0.41

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

102S工法

適用部位

- 屋上
 - 急勾配屋根
 - ルーフバルコニー
 - ベランダ
 - (下階居室有)
 - 大庇
- </

屋外・屋内防水工法③[補強布入り]

JASS 8ポリマーセメント系塗膜防水工法 C-PF仕様適合／日本建築学会
ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説 PA-3仕様適合／日本建築学会

防水層平均厚み 1.6mm



屋外・屋内防水工法③は、エクセルテックス防水材と補強布を一体化させた密着工法です。

防水塗膜の補強効果に優れ、防水層の同時破断あるいはクリープ破断の低減効果があります。

屋外・屋内防水工法②よりも防水材の塗布量も多く更に重要度の高い施工部位に適用します。

乾燥時間の目安(乾燥時間(hr)気温20°C・60%RH)

プライマー	防水材	仕上塗料
0.5~1	2~6	1~6 ^(注)

(注)施工後24時間程度雨にからないように養生してください。

*水張り試験は最終工程終了後、7日間以上養生した上で、行ってください。

*乾燥時間は、施工環境(風通し等)によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程にお進みください。

施工可能面積(m²)

工 法	ET-100/ET-1号		補強布 (1セット)	ET-25		ET-35	ET-45	ET-15	BBトップクールAU (1セット)
	(1セット)	(1巻)		(1缶)	(1缶)				
110				—	—	—	—	—	—
111				40	—	—	—	—	—
112				20	—	—	—	—	—
112U				—	50	—	—	—	—
112S				—	—	50	—	—	—
112F				—	—	—	37.5	—	—
112C				—	—	—	—	—	50

ETプライマーの施工可能面積は、16kg缶で160m²、3kgボリ容器【ケース】で30m²です。

*ET-100/ET-1号の()内はETプライマー使用時の場合です。

標準配合比(重量比)

プライマー

	ET-100	ET-1号	ETプライマー	水	塗布量(kg/m ²)
トモプライマー	18	14	—	28	0.30
ETプライマー 16kg	—	—	16	16	0.20
ETプライマー 3kg	—	—	3	3	0.20

トモプライマー：防水材の主材と硬化材を水で希釈し用いるプライマー

●下地の種類によりプライマーを使い分けてください。P27「各種部材への付着とプライマーの選択」でご確認ください。

防水

	ET-100	ET-1号	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
防水塗材B	18	14	4	0.90
防水塗材A	18	14	2	0.85

●気温 5°C以下の施工は避けてください。

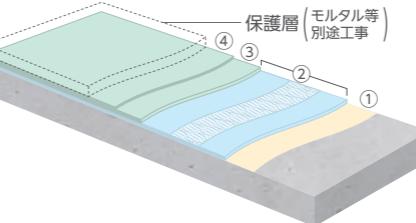
●降雨・降雪・強風等の場合又は予想される場合は施工を中止してください。

●詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

110工法

適用部位

- 屋上
- トイレ
- ルーフバルコニー
- ベランダ
- 開放廊下
- 厨房
- 浴室
- (下階居室有)



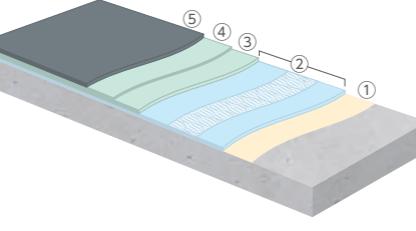
	kg/m ²	配合 (kg / m ²)		
		ET-100	ET-1号	水
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	0.14
④防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)			
③防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	0.05
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	0.05
合計	3.80	1.89	1.47	0.44

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

111工法

適用部位

- 屋上
- ベランダ
- 開放廊下
- (下階居室有)
- ルーフバルコニー
- 大庇



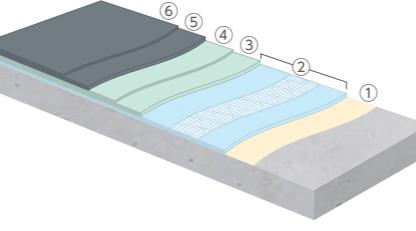
	kg/m ²	配合 (kg / m ²)			
		ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
④防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)				
③防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑤トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
合計	4.35	1.89	1.47	0.50	0.49

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

112工法

適用部位

- 屋上
- ベランダ
- 開放廊下
- (下階居室有)
- ルーフバルコニー
- 大庇



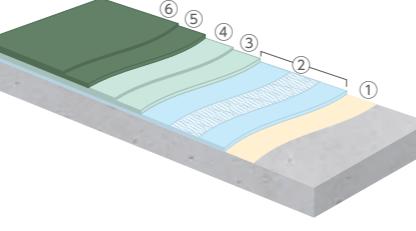
	kg/m ²	配合 (kg / m ²)			
		ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	—	0.14
④防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
②補強布	(ETメッシュ・ETメッシュ2・ETクロス)				
③防水塗材 B	0.90	0.45	0.35	—	0.10
③防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	—	0.05
⑤トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
⑥トップコート	0.55	—	—	0.50	0.05
合計	4.90	1.89	1.47	1.00	0.54

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

112U工法

適用部位

- 屋上
- ベランダ
- 開放廊下
- (下階居室有)
- ルーフバルコニー
- 大庇



	kg/m ²	配合 (kg / m<
--	-------------------	-------------

屋外・屋内防水工法④[ETハイパー・メッシュ]



屋外・屋内防水工法④は、有機繊維として最高レベルの強度と弾性率を有するETハイパー・メッシュを用いた、補強布入り密着工法の最上位の仕様です。補強布のETハイパー・メッシュは、炭素と水素からできており燃やしても水と二酸化炭素になり有害物質を発生させません。また、耐アルカリ・耐候性・耐水性に優れています。

乾燥時間の目安(乾燥時間(hr) 気温20°C・60%RH)

プライマー	防水材	仕上塗料
0.5~1	2~6	1~6 ^(注)

(注)施工後24時間程度雨にからないように養生してください。
※水張り試験は最終工程終了後、7日間以上養生した上で、行ってください。
※乾燥時間は、施工環境(風通し等)によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程にお進みください。

施工可能面積(m²)

工 法	ET-100/ET-1号		ETハイパー・メッシュ		ET-25	ET-35	ET-45	ET-15	BBトップクールAU
	(1セット)	100m巻	25m巻	(1缶)	(1缶)	(1セッタ)	(1缶)	(1セッタ)	
130				—	—	—	—	—	
131				40	—	—	—	—	
132				20	—	—	—	—	
132U				—	50	—	—	—	
132S				—	—	50	—	—	
132F				—	—	—	37.5	—	
132C				—	—	—	—	50	

ETプライマーの施工可能面積は、16kg缶で160m²、3kgポリ容器【ケース】で30m²です。

*ET-100/ET-1号の()内はETプライマー使用時の場合です。

標準配合比(重量比)

プライマー

	ET-100	ET-1号	ETプライマー	水	塗布量(kg/m ²)
トモプライマー	18	14	—	28	0.30
ETプライマー 16kg	—	—	16	16	0.20
ETプライマー 3kg	—	—	3	3	0.20

トモプライマー：防水材の主材と硬化材を水で希釈し用いるプライマー
●下地の種類によりプライマーを使い分けてください。P27「各種部材への付着とプライマーの選択」でご確認ください。

防水

	ET-100	ET-1号	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
防水塗材A	18	14	2	0.85

仕上塗料

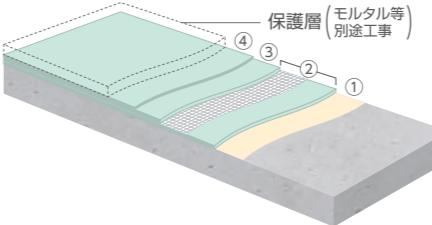
仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22
ET-25(トップコート)	20	2	0.55
ET-35(ウレアントップ)	16	1	0.17
ET-45(シャイニートップ)	15	1	0.16
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16

●気温 5°C以下の施工は避けてください。
●降雨・降雪・強風等の場合又は予想される場合は施工を中止してください。
●詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

130工法

適用部位

- 屋上
- 開放廊下
- トイレ
- ルーフバルコニー
- 浴室
- ベランダ (下階居室有)
- 保護層(モルタル等)別途工事



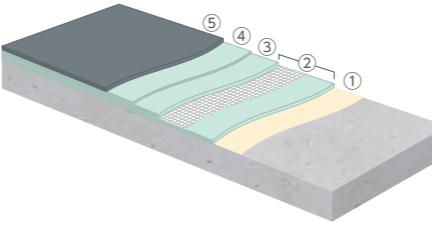
	kg/m ²	配合(kg/m ²)		
		ET-100	ET-1号	水
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	0.05
③補強布			(ETハイパー・メッシュ)	
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	0.05
合計	2.85	1.44	1.12	0.29

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

131工法

適用部位

- 屋上
- ルーフバルコニー
- ベランダ (下階居室有)



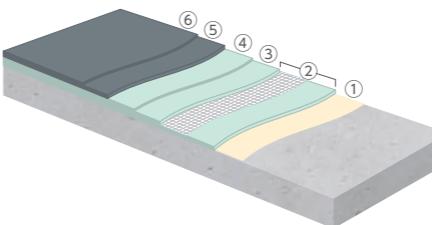
	kg/m ²	配合(kg/m ²)		
		ET-100	ET-1号	ET-25
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	— 0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	— 0.05
③補強布			(ETハイパー・メッシュ)	
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	— 0.05
⑤トップコート	0.55	—	—	0.50 0.05
合計	3.40	1.44	1.12	0.50 0.34

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

132工法

適用部位

- 屋上
- ルーフバルコニー
- ベランダ (下階居室有)
- 開放廊下 (下階居室有)



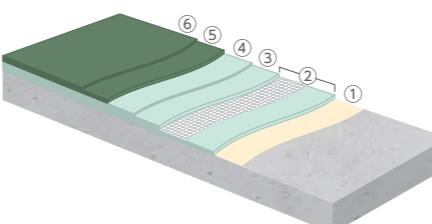
	kg/m ²	配合(kg/m ²)		
		ET-100	ET-1号	ET-25
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	— 0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	— 0.05
③補強布			(ETハイパー・メッシュ)	
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	— 0.05
⑤トップコート	0.55	—	—	0.50 0.05
⑥トップコート	0.55	—	—	0.50 0.05
合計	3.95	1.44	1.12	1.00 0.39

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

132U工法

適用部位

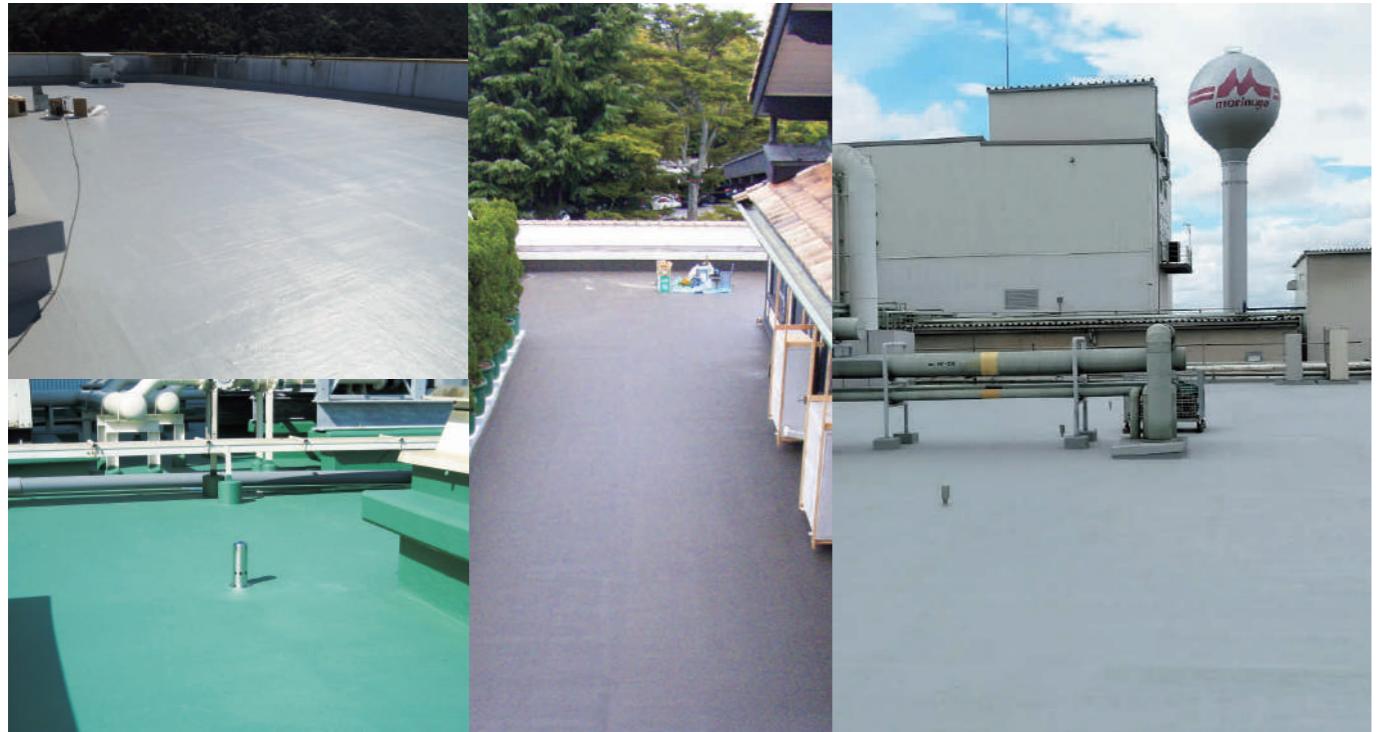
- 屋上
- ルーフバルコニー
- ベランダ (下階居室有)
- 開放廊下 (下階居室有)
- 急勾配屋根



	kg/m ²	配合(kg/m ²)		
		ET-100	ET-1号	ET-35
①プライマー*	0.30	0.09	0.07	— 0.14
②防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	— 0.05
③補強布			(ETハイパー・メッシュ)	
④防水塗材 A	0.85	0.45	0.35	— 0.05
⑤ウレアントップ	0.17	—	—	0.16 0.01
⑥ウレアントップ	0.17	—	—	0.16 0.01
合計	3.19	1.44	1.12	0.32 0.31

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

通気緩衝工法 [TKシステム]



改質アスファルトシートを用いた複合防水システム

エクセルテックスTKシステムは、防水性・緩衝効果の高い改質アスファルトシートとエクセルテックス防水材との複合防水システムで、下地の水分の影響による防水層のフクレ発生を緩和するとともに下地拳動による防水層の破断を抑える効果があります。溶剤系材料を一切使用しない環境対応型の材料構成で、臭い・中毒・引火等の心配もなく、特に学校・病院・住環境下のマンション等の改修工事に適しています。

乾燥時間の目安 (乾燥時間(hr) 気温20°C・60%RH)

工法	ETプライマー	TK通緩シート	ET-100/ET-1号	ET-25	ET-35	ET-45	ET-15	BBトップクールAU
(1缶)	(1巻)	(1セット)	(1缶)	(1缶)	(1缶)	(1缶)	(1缶)	(1セット)
TK-1				40	—	—	—	—
TK-2				20	—	—	—	—
TK-2U				—	50	—	—	—
TK-2S				—	—	50	—	—
TK-2F				—	—	—	37.5	—
TK-2C				—	—	—	—	50

(注)施工後24時間程度雨にかからないように養生してください。
※水張り試験は最終工程終了後、7日間以上養生した上で、行ってください。
※乾燥時間は、施工環境(風通し等)によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程にお進みください。

標準配合比(重量比)

プライマー

	ETプライマー	水	塗布量(kg/m ²)
ETプライマー 16kg	16	8	0.30
ETプライマー 3kg	3	1.5	0.30

防水

	ET-100	ET-1号	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
防水塗材B	18	14	4	0.90
防水塗材A	18	14	2	0.85

施工可能面積(m²)

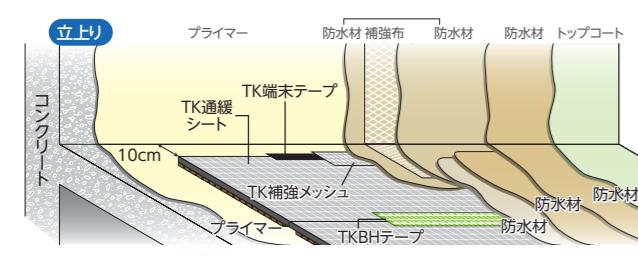
工法	ETプライマー	TK通緩シート	ET-100/ET-1号	ET-25	ET-35	ET-45	ET-15	BBトップクールAU
(1缶)	(1巻)	(1セット)	(1缶)	(1缶)	(1缶)	(1缶)	(1缶)	(1セット)
TK-1				40	—	—	—	—
TK-2				20	—	—	—	—
TK-2U				—	50	—	—	—
TK-2S				—	—	50	—	—
TK-2F				—	—	—	37.5	—
TK-2C				—	—	—	—	50

ETプライマー3kgポリ容器[ケース]の施工可能面積は15m²です。

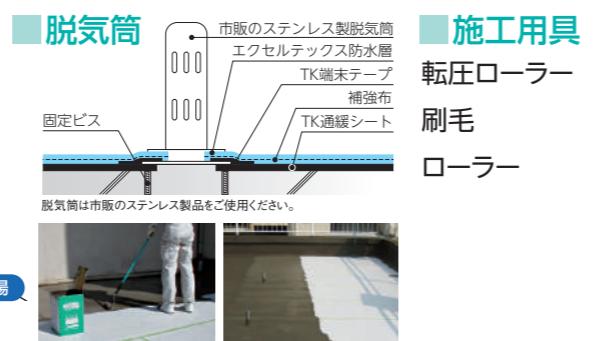
仕上塗料

仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22
ET-25(トップコート)	20	2	0.55
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17
ET-45(シャニートップ)	15	1	0.16
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16

TK-1工法・納り図



脱気筒



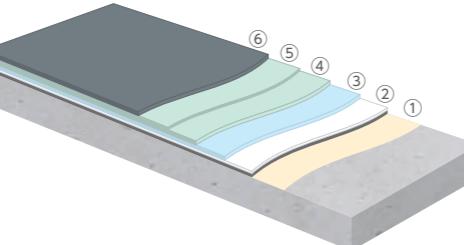
施工用具

- 転圧ローラー
- 刷毛
- ローラー

TK-1工法

適用部位

- 屋上

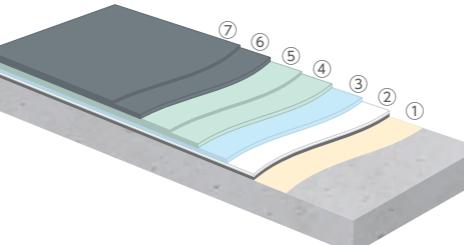


※立上り部は101工法(密着工法・補強布入り)

TK-2工法

適用部位

- 屋上

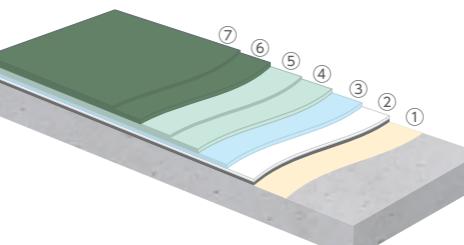


※立上り部は102工法(密着工法・補強布入り)

TK-2U工法

適用部位

- 屋上

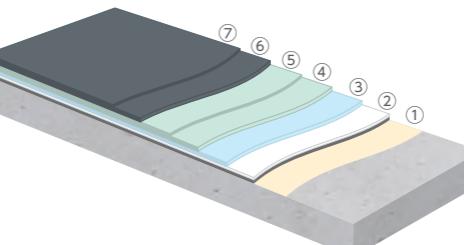


※立上り部は102U工法(密着工法・補強布入り)

TK-2S工法

適用部位

- 屋上

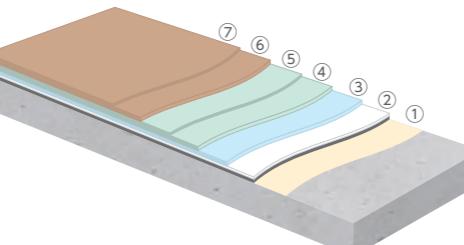


※立上り部は102S工法(密着工法・補強布入り)

TK-2F工法

適用部位

- 屋上

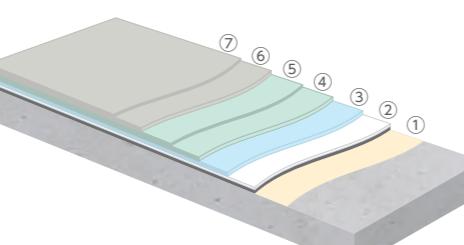


※立上り部は102F工法(密着工法・補強布入り)

TK-2C工法(遮熱仕様)

適用部位

- 屋上



※立上り部は102C工法(密着工法・補強布入り)

kg/m ²	配合 (kg/m ²)				
	ETプライマー	ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー材	0.30	0.20	—	—	0.10
②通気緩衝シート	(TK通緩シート-TKBHテープ・TK端末テープ・TK補強メッシュ)				
③防水塗材 B	0.90	—	0.45	0.35	—
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
⑥トップコート	0.55	—	—	—	0.50
合計	3.45	0.20	1.35	1.05	0.50
	0.35				

kg/m ²	配合 (kg/m ²)				
	ETプライマー	ET-100	ET-1号	ET-25	水
①プライマー材	0.30	0.20	—	—	0.10
②通気緩衝シート	(TK通緩シート-TKBHテープ・TK端末テープ・TK補強メッシュ)				
③防水塗材 B	0.90	—	0.45	0.35	—
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
⑥トップコート	0.55	—	—	—	0.50
⑦トップコート	0.55	—	—	—	0.50
合計	4.00	0.20	1.35	1.05	1.00
	0.40				

kg/m²	配合 (kg/m²)				
ETプライマー	ET-100	ET-1号	ET-35	水	

</

通気緩衝工法 [MTシステム]



特殊構造通気シートを用いた作業性に優れる通気緩衝工法

エクセルテックスMTシステムは、従来の通気緩衝工法とは違い、接着剤やジョイントテープ・端末テープ等による処理を必要としません。また、MTシートの貼り付け作業は、部分的に穴の空いているMTシートの上から防水材を塗布し、その穴を利用して下地へ付着させてるので、補強布入り防水工法と同様の要領で、特に作業効率に優れた通気緩衝工法です。防水層のフクレを緩和し、下地の挙動による防水層の破断を抑える効果を備えており、集合住宅等の改修工事で溶剤系の材料による臭い・中毒等による問題が懸念される現場や工期短縮を求める現場に最適です。

乾燥時間の目安 (乾燥時間(hr) 気温20°C・60%RH)

プライマー	防水材	仕上塗料
0.5~1	2~6	1~6(注)

(注)施工後24時間程度雨にかかるないように養生してください。

*水張り試験は最終工程終了後、7日間以上養生した上で、行ってください。

*乾燥時間は、施工環境(風通し等)によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程にお進みください。

施工可能面積(m²)

工法	ETプライマー (1缶)	MTシート (1巻)	ET-100/ET-1号 (1セット)	ET-25 (1缶)	ET-35 (1缶)	ET-45 (1セット)	ET-15 (1缶)	BBトップクールAU (1セット)
MT-1	160	49	11.1	40	—	—	—	—
				20	—	—	—	—
				—	50	—	—	—
				—	—	50	—	—
				—	—	—	37.5	—
				—	—	—	—	50

ETプライマー3kgポリ容器[ケース]の施工可能面積は30m²です。

施工用具

施工用具	仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22	
ET-25(トップコート)	20	2	0.55	
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17	
ET-45(シャニーノットップ)	15	1	0.16	
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16	

施工用具

施工用具	仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22	
ET-25(トップコート)	20	2	0.55	
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17	
ET-45(シャニーノットップ)	15	1	0.16	
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16	

施工用具

施工用具	仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22	
ET-25(トップコート)	20	2	0.55	
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17	
ET-45(シャニーノットップ)	15	1	0.16	
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16	

施工用具

施工用具	仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22	
ET-25(トップコート)	20	2	0.55	
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17	
ET-45(シャニーノットップ)	15	1	0.16	
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16	

施工用具

施工用具	仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22	
ET-25(トップコート)	20	2	0.55	
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17	
ET-45(シャニーノットップ)	15	1	0.16	
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16	

施工用具

施工用具	仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22	
ET-25(トップコート)	20	2	0.55	
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17	
ET-45(シャニーノットップ)	15	1	0.16	
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16	

施工用具

施工用具	仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22	
ET-25(トップコート)	20	2	0.55	
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17	
ET-45(シャニーノットップ)	15	1	0.16	
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16	

施工用具

施工用具	仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22	
ET-25(トップコート)	20	2	0.55	
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17	
ET-45(シャニーノットップ)	15	1	0.16	
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16	

施工用具

施工用具	仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22	
ET-25(トップコート)	20	2	0.55	
ET-35(ウレタントップ)	16	1	0.17	
ET-45(シャニーノットップ)	15	1	0.16	
BBトップクールAU(遮熱トップ)	15	1	0.16	

施工用具

施工用具	仕上塗料	容量	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
ET-15(フラットトップ)	15	1.5	0.22	
ET-25(トップ				

通気緩衝工法 [NWシステム]



不織布タイプの通気シートを用いた通気緩衝工法。

NWシステムは、NWシート(2層構造合成繊維不織布:通気緩衝シート)を用いた通気緩衝工法で、シンダーコンクリート等の下地の挙動による防水層の破断を防ぎ、また、下地からの水分を分散させ脱気筒から排出することで防水層のフクレを緩和させます。NWシステムは、溶剤系材料を一切使用しない水系の材料構成で溶剤臭・中毒・引火の心配がなく、特に学校・病院・住環境下のマンション等の改修工事に適しています。

乾燥時間の目安 (乾燥時間(hr) 気温20°C・60%RH)

(注)施工後24時間程度雨にかかるないように養生してください。

*水張り試験は最終工程終了後、7日間以上養生した上で、行ってください。

*乾燥時間は、施工環境(風通し等)によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程にお進みください。

標準配合比(重量比)

接着剤

	容量	水	塗布量(kg/m ²)
NW接着剤	18	希釈なし	0.25

防水

	ET-100	ET-1号	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
防水塗材A	18	14	2	0.85

施工可能面積(m²)

工法	NW接着剤 (1缶)	NWシート (1巻)	ET-100/ET-1号 (1セット)	ET-25 (1缶)	ET-35 (1缶)	ET-45 (1セット)	ET-15 (1缶)	BBトップクールAU (1セット)
NW-1	72	50	13.3	40	—	—	—	—
				20	—	—	—	—
				—	50	—	—	—
				—	—	50	—	—
				—	—	—	37.5	—
				—	—	—	—	50

施工用具

刷毛

施工用具

ローラー

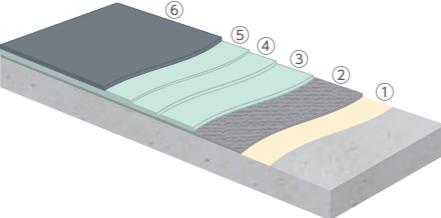
施工の流れ



NW-1工法

適用部位

●屋上

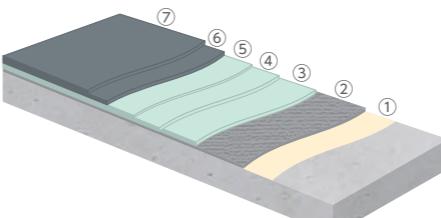


※立上り部は101工法(密着工法・補強布入り)

NW-2工法

適用部位

●屋上

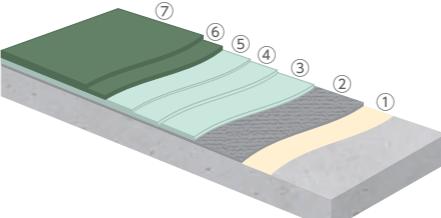


※立上り部は102工法(密着工法・補強布入り)

NW-2U工法

適用部位

●屋上

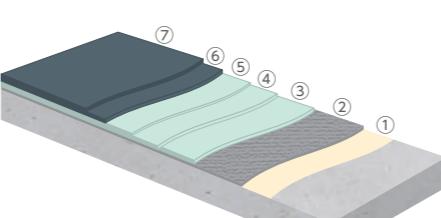


※立上り部は102U工法(密着工法・補強布入り)

NW-2S工法

適用部位

●屋上

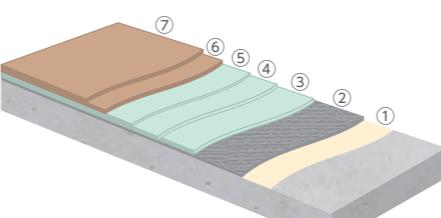


※立上り部は102S工法(密着工法・補強布入り)

NW-2F工法

適用部位

●屋上

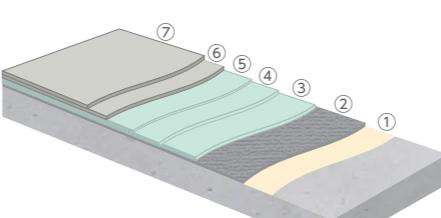


※立上り部は102F工法(密着工法・補強布入り)

NW-2C工法(遮熱仕様)

適用部位

●屋上



※立上り部は102C工法(密着工法・補強布入り)

	kg/m ³	配合 (kg / m ³)			
		NW接着剤	ET-100	ET-1号	ET-25
①接着剤	0.25	0.25	—	—	—
②通気緩衝シート	(NW シート・NW テープ・市販のウレタンシーリング材)				
③防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
⑥トップコート	0.55	—	—	—	0.50
合計	3.35	0.25	1.35	1.05	0.50
		水			

	kg/m ³	配合 (kg / m ³)			
		NW接着剤	ET-100	ET-1号	ET-25
①接着剤	0.25	0.25	—	—	—
②通気緩衝シート	(NW シート・NW テープ・市販のウレタンシーリング材)				
③防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
⑥トップコート	0.55	—	—	—	0.50
⑦トップコート	0.55	—	—	—	0.50
合計	3.90	0.25	1.35	1.05	1.00
		水			

	kg/m ³	配合 (kg / m ³)			
		NW接着剤	ET-100	ET-1号	ET-35
①接着剤	0.25	0.25	—	—	—
②通気緩衝シート	(NW シート・NW テープ・市販のウレタンシーリング材)				
③防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
⑥シャイニートップ	0.17	—	—	—	0.16
⑦シャイニートップ	0.17	—	—	—	0.16
合計	3.14	0.25	1.35	1.05	0.32
		水			

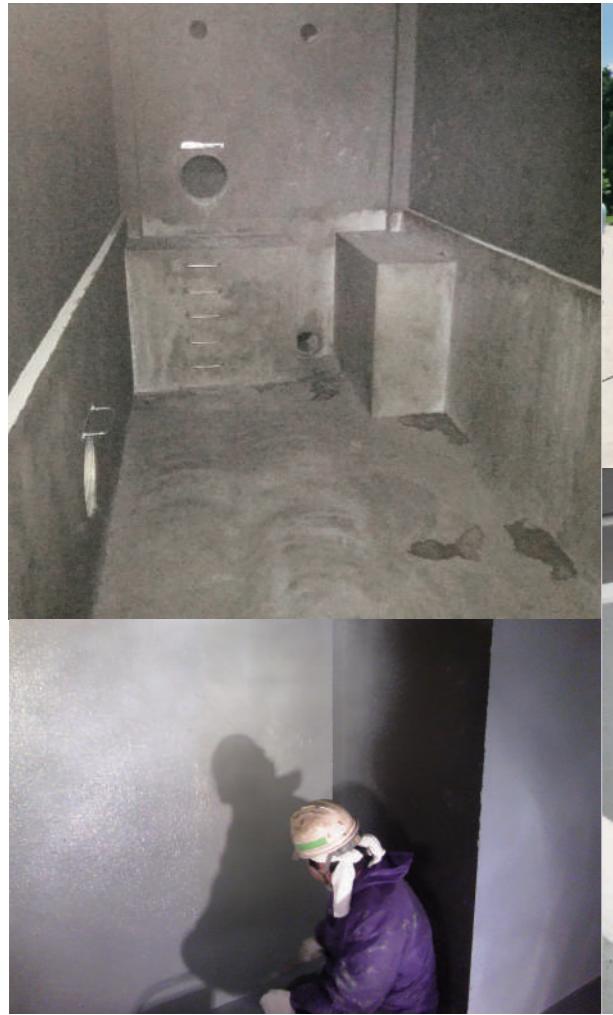
	kg/m ³	配合 (kg / m ³)			
		NW接着剤	ET-100	ET-1号	ET-45
①接着剤	0.25	0.25	—	—	—
②通気緩衝シート	(NW シート・NW テープ・市販のウレタンシーリング材)				
③防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
④防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
⑤防水塗材 A	0.85	—	0.45	0.35	—
⑥シャイニートップ	0.16	—	—	—	0.15
⑦シャイニートップ	0.16	—	—	—	0.15
合計	3.12	0.25	1.35	1.05	0.30
		水			

	kg/m³	配合 (kg / m			

水槽類・地下防水工法

JASS 8ポリマーセメント系塗膜防水工法 C-PU仕様適合／日本建築学会
ポリマーセメント系塗膜防水工事施工指針(案)・同解説 PB-1仕様適合／日本建築学会

防水層平均厚み 1.1mm



水槽類・地下防水工法は、塗膜の硬化性・強靭さに優れた防水材の特長により水槽や地下外壁等の施工部位に適用します。

300シリーズはEVA系、500シリーズはアクリル系の防水塗膜です。

500シリーズは、特に耐水性に優れており防火水槽を始め一般的な水を貯める水槽の場合には保護層を必要としません。

乾燥時間の目安 (乾燥時間(hr) 気温20°C・60%RH)

プライマー	防水材	ETコート#600	ETコート#800	ETコート#1000
0.5~1	4~8	12(注)	12(注)	12(注)

(注)水槽類の水張りは、最終工程後、7日間以上養生の後、行ってください。

(注)水槽類以外の用途の場合は、最終工程後、3日以上養生してください。

*乾燥時間は、施工環境によって変動しますので、乾燥の確認を十分に行った上で次工程にお進みください。

標準配合比(重量比)

プライマー

	ET-300	ET-3号	ETプライマー	水	塗布量(kg/m ²)
トモプライマー	18	24	—	48	0.30
ETプライマー16kg	—	—	16	16	0.20
ETプライマー3kg	—	—	3	3	0.20

トモプライマー：防水材の主材と硬化材を水で希釈して使用するプライマー
●下地の種類により「プライマー」を使い分けてください。P27「各種部材への付着とプライマーの選択」をご確認ください。

300シリーズ

	ET-300	ET-3号	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
防水塗材	18	24	—	1.26

500シリーズ

	ET-500	ET-5号	水	1工程の塗布量(kg/m ²)
防水塗材	18	36	0.45*	1.21

*水の混合量は重量比で1%以内

●温度 5 ~ 35°C 内、湿度 85% 以内で塗布面に結露がないことを確認の上、施工を行ってください。
●塗り重ね間隔を守り、各工程の乾燥を確認し次の工程に入ってください。

●湿度の高い密閉空間では除湿機等により、除湿してください。
●詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

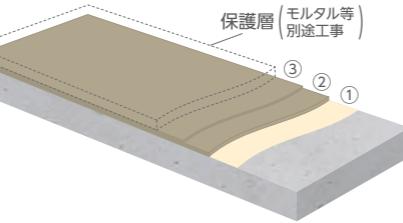
施工用具

金ゴテ 刷毛 ローラー(プライマー・ETコート#1000)

300工法

適用部位

- 地下外壁
- 防火水槽
- 雨水貯留槽
- 池
- 外構



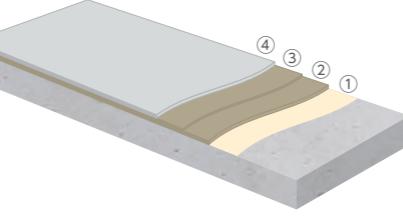
	kg/m ²	配合		
		ET-300	ET-3号	水
①プライマー*	0.30	0.06	0.08	0.16
②防水塗材	1.26	0.54	0.72	—
③防水塗材	1.26	0.54	0.72	—
合計	2.82	1.14	1.52	0.16

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

301工法

適用部位

- 地下外壁
- EVピット
- 防火水槽
- 雨水貯留槽
- 地下内壁
- 池



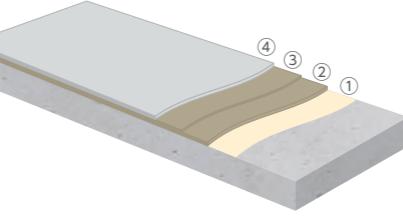
	kg/m ²	配合			
		ET-300	ET-3号	ET-600	水
①プライマー*	0.30	0.06	0.08	—	0.16
②防水塗材	1.26	0.54	0.72	—	—
③防水塗材	1.26	0.54	0.72	—	—
④ETコート#600	1.81	—	—	1.73	0.08
合計	4.63	1.14	1.52	1.73	0.24

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

302工法

適用部位

- 水槽
(軽度耐食環境の水槽)
- EVピット
- 防油堤



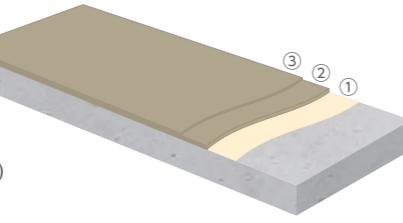
	kg/m ²	配合			
		ET-300	ET-3号	ET-800	水
①プライマー*	0.30	0.06	0.08	—	0.16
②防水塗材	1.26	0.54	0.72	—	—
③防水塗材	1.26	0.54	0.72	—	—
④ETコート#800	1.60	—	—	1.60	—
合計	4.42	1.14	1.52	1.60	0.16

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

500工法

適用部位

- 防火水槽
- 雨水貯留槽
- 池
- 地下内壁
- 地下外壁
(地下外壁には別途保護層が必要)
- 外構



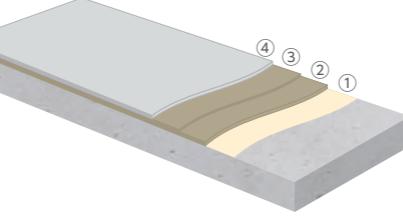
	kg/m ²	配合			
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	水
①プライマー	0.20	0.10	—	—	0.10
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	0.01
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	0.01
④ETコート#600	1.81	—	—	1.73	0.08
合計	4.43	0.10	0.80	1.60	0.20

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

501工法

適用部位

- 地下外壁
- EVピット
- 防火水槽
- 雨水貯留槽
- 地下内壁
- 池



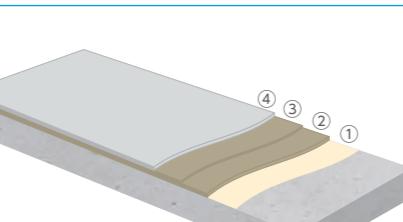
	kg/m ²	配合			
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	水
①プライマー	0.20	0.10	—	—	0.10
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	0.01
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—
④ETコート#600	1.81	—	—	1.73	0.08
合計	4.43	0.10	0.80	1.60	0.20

*ETプライマー使用の場合は、0.2kg/m²(水により2倍希釈したもの)

502工法

適用部位

- 水槽
(軽度耐食環境の水槽)
- EVピット
- 防油堤



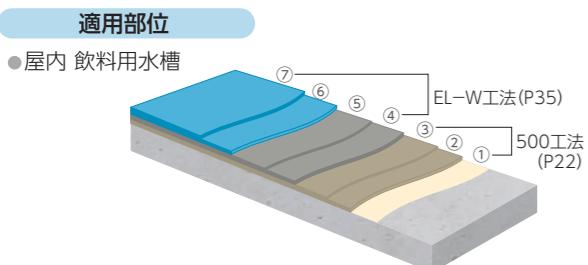
防水・防食複合工法



エクセルテックス防水にエポキシライニング材による防食機能をプラスした防水工法です。

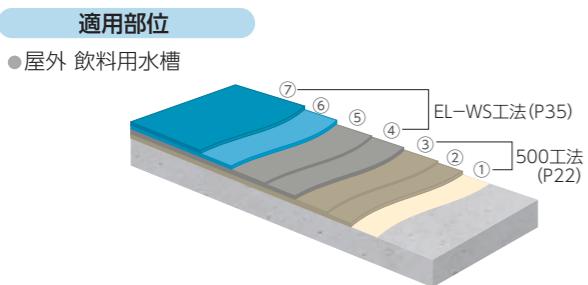
柔軟性がありしかも強靭なエクセルテックス防水層をエポキシライニングの下層に設けることで、コンクリートのひび割れに対する追従性が向上します。

500工法+EL-W工法



	kg/m ²	配合				
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	EL-3000	EL-3100
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	0.10
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
④ELコート#3000	0.40	—	—	0.40	—	—
⑤ELコート#3000	0.40	—	—	0.40	—	—
⑥ELコート#3100	0.20	—	—	—	0.20	—
⑦ELコート#3100	0.20	—	—	—	0.20	—
合計	3.82	0.10	0.80	1.60	0.80	0.40
						0.12

500工法+EL-WS工法



	kg/m ²	配合				
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	EL-4000	EL-4100
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	0.10
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
④ELコート#4000	0.40	—	—	0.40	—	—
⑤ELコート#4000	0.40	—	—	0.40	—	—
⑥ELコート#4100	0.20	—	—	—	0.20	—
⑦ELコート#4200	0.20	—	—	—	0.20	—
合計	3.82	0.10	0.80	1.60	0.80	0.20
						0.12

乾燥時間の目安

(乾燥時間(hr) 気温20°C・60%RH)

プライマー	防水材	EL-3000	EL-3100	EL-4000	EL-4100	EL-4200
0.5~1	4~8	12	16 ^(注)	12	16 ^(注)	12 ^(注)

(注)水槽類の水張りは最終工程後7日以上養生後行ってください。

(注)防水層(ET-500/ET-5号)の塗布後48時間以上硬化養生させてから次工程の塗材を塗布してください。

*乾燥時間は、施工環境により変動します。

施工可能面積(m²)

工 法	ET [®] ラマ (1缶)	ET-500/ET-5号 (1セット)	EL-3000 (1セット)	EL-3100 (1セット)	EL-4000 (1セット)	EL-4100 (1セット)	EL-4200 (1セット)
500	160	22.5	—	—	—	—	—
EL-W	—	—	37.5	62.5	—	—	—
EL-WS	—	—	—	—	37.5	120	120

ETプライマー3kgポリ容器[ケース]の施工可能面積は30m²です。

施工用具

金ゴテ ゴムゴテ 刷毛 ローラー(ETプライマー・ELコート#3100・ELコート#4100・ELコート#4200)

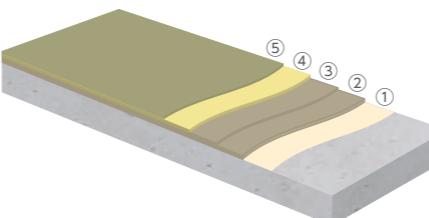
●温度 5 ~ 35°C 以内、湿度 85% 以内で塗布面に結露がないことを確認の上、施工を行ってください。
●塗り重ね間隔を守り、各工程の乾燥を確認し次の工程に入ってください。

●湿度の高い密閉空間では除湿機等により、除湿してください。
●詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

503-AT工法

適用部位

●汚水槽
(硫化水素の発生のない)

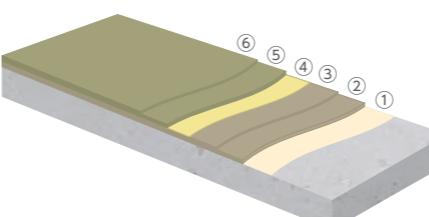


	kg/m ²	配合				
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	EGエポプライマー	EG-5100
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	0.10
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
④EGエポプライマー	0.15	—	—	—	0.15	—
⑤EGコート#5100	0.40	—	—	—	—	0.40
合計	3.17	0.10	0.80	1.60	0.15	0.40
						0.12

503-BT工法

適用部位

●汚水槽
(硫化水素の発生の少ない)

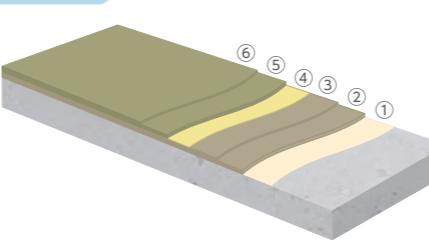


	kg/m ²	配合				
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	EGエポプライマー	EG-5100
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	0.10
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
④EGエポプライマー	0.15	—	—	—	0.15	—
⑤EGコート#5100	0.20	—	—	—	—	0.20
⑥EGコート#5100	0.40	—	—	—	—	0.40
合計	3.37	0.10	0.80	1.60	0.15	0.60
						0.12

503-CT工法

適用部位

●汚水槽
●雑排水槽
●厨房排水槽

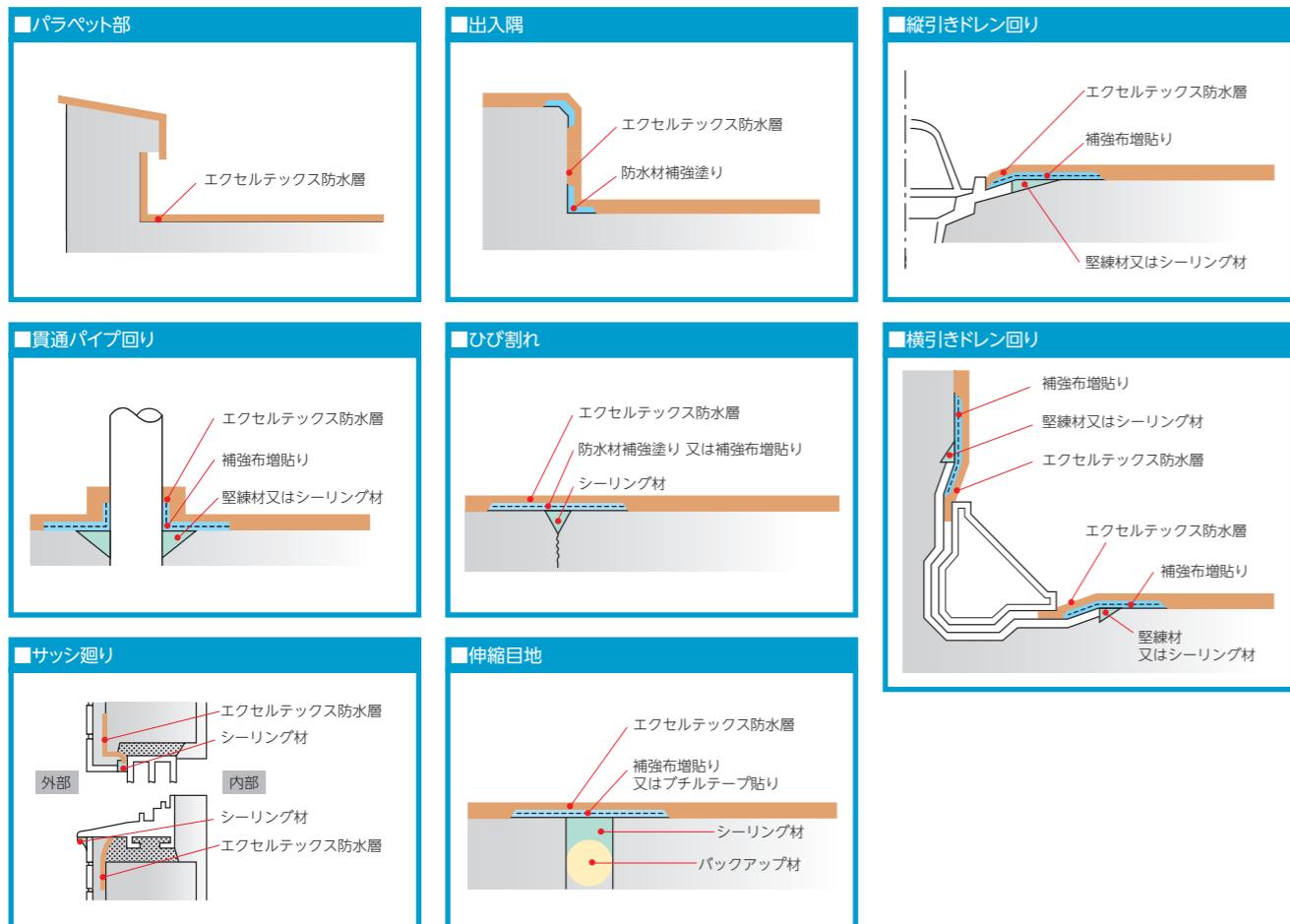


	kg/m ²	配合				
		ETプライマー	ET-500	ET-5号	EGエポプライマー	EG-5000
①プライマー材	0.20	0.10	—	—	—	0.10
②防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
③防水塗材	1.21	—	0.40	0.80	—	0.01
④EGエポプライマー	0.15	—	—	—	0.15	—
⑤EGコート#5000	0.80	—	—	—	—	0.80
⑥EGコート#5100	0.40	—	—	—	—	0.40
合計	3.97	0.10	0.80	1.60	0.15	0.80
						0.12

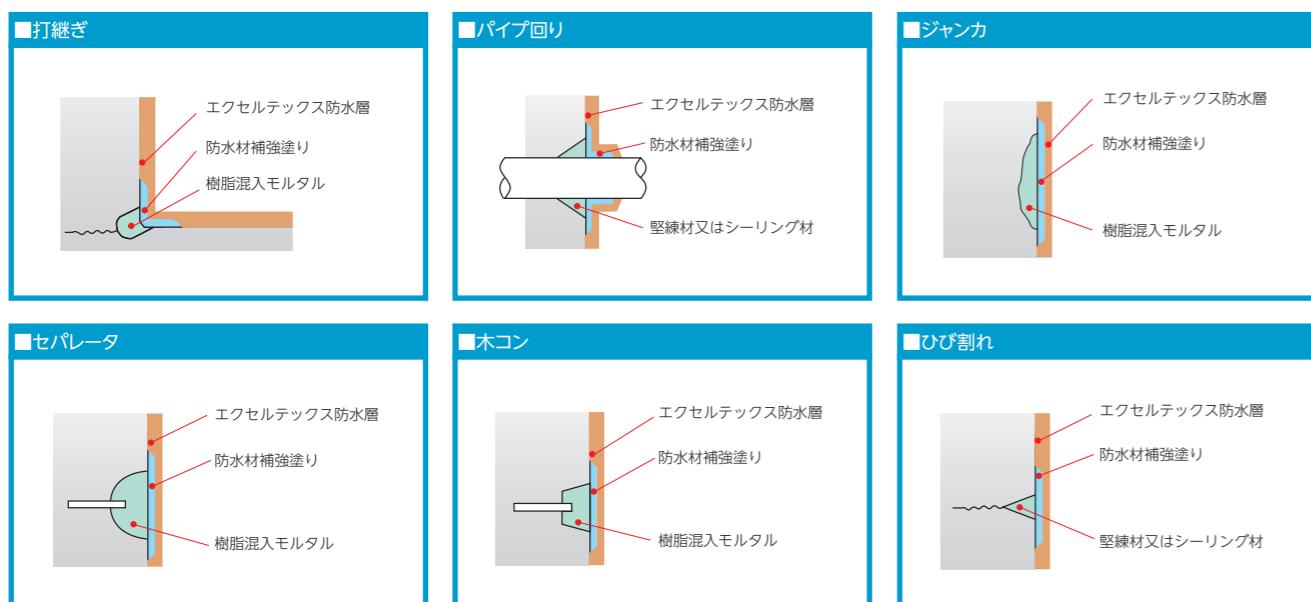
503-DT工法

各部の標準納まりと下地処理

屋外・屋内シリーズ



水槽類・地下シリーズ



- 図ではプライマーは、省略しております。
- 鉄部は予め防錆処理してください。
- 堅練材は主材1:硬化材1.5~2.0で混練してください。
- シーリング材はノンブリードタイプのウレタンシーリング材を使用してください。
- 施工面から漏水・湧水がある場合は止水処理を行ってください。
- 伸縮目地部は、既設の目地材を撤去し、バッカー装着、ウレタンシーリング材を充填し、TK端末テープ又は補強布を増貼りしてください。

タキストロンとの複合防水システム

エクセルテックス®防水材と タキストロン タフスリップタイプ®・タキステップ®との複合防水システム

水系で環境に優しいエクセルテックス防水層の上に、意匠性・重歩行性に優れた防滑性ビニル床シートを接着させた、防水性と歩行に対する耐久性を併せ持つ複合防水システムです。高層住宅やマンション等の開放廊下やバルコニー・階段等への施工に適しています。

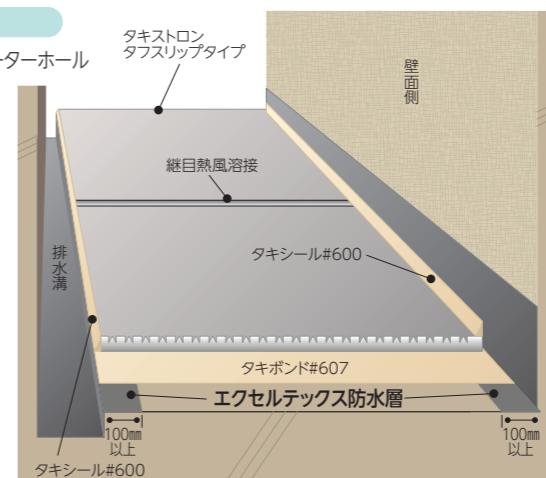
複合防水システムの特長

- 優れた防水・耐久・防滑・遮音性**
エクセルテックス防水材の柔軟かつ強靭で耐久性に優れた防水性と、防滑性ビニル床シートの床材としての耐久性・防滑性・遮音性によって、建物を雨水から防ぐと同時に床の機能をより上質なものにします。
- 優れた意匠性**
防滑性ビニル床シートの意匠性に合わせて、側溝と幅木にエクセルテックス防水材を施工することによりカラフルな仕上がりが可能です。
- フクレや接着不良にも優れた効果**
エクセルテックス防水層は防滑性ビニル床シートに使用される専用接着剤による防水接着性に優れており、万一、水が滞留してもシートのフクレや接着不良を起こりにくくする効果があります。

タキストロン床材 [耐水工法]

適用部位

- 開放廊下
- エレベーターホール
- バルコニー
(下階居室なし)
- 外部階段
- 踊り場



エクセルテックス防水工法

- 104
- 105
- 106
- 106U
- 106S
- 106F
- 106C

※露出部は仕上塗料工法で施工を行ってください。

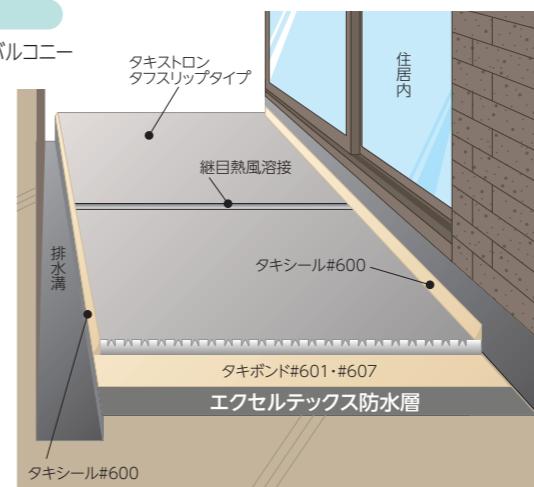
使用材料

- 接着剤
・タキボンド#607
- 床材
タキストロン タフスリップタイプ
(タキステップ)
- 端部処理材
・タキシール#600

タキストロン床材 [特殊耐水工法]

適用部位

- 開放廊下
(屋根なし)
- ルーフバルコニー



エクセルテックス防水工法

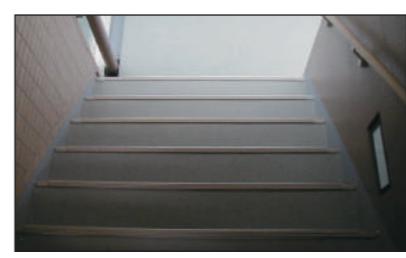
- 100
- 101
- 102
- 102U
- 102S
- 102F
- 102C
- 110
- 111
- 112
- 112U
- 112S
- 112F
- 112C

※露出部は仕上塗料工法で施工を行ってください。

使用材料

- 接着剤
・タキボンド#601
・タキボンド#607
- 床材
タキストロン タフスリップタイプ
- 端部処理材
・タキシール#600

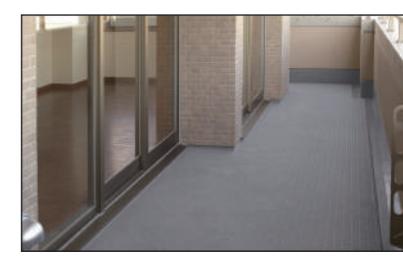
使用例写真



外部階段



開放廊下



バルコニー

防滑性ビニル床シートの施工の際に使用する  タキロン株式会社 製の専用接着剤・副資材「タキボンド (# 601・# 607)、タキシール #600」との接着試験を実施。その接着性につきましては、 タキロン株式会社 の接着基準をクリアしていることを確認しております。

防水塗膜性能

エクセルテックス防水材の製品情報

	屋外屋内シリーズ	水槽類・地下シリーズ	
材料種別	C-PF(補強布なし)	C-PU	
ポリマー混和液(固体分)	53%(ET-100)	56%(ET-300)	55%(ET-500)
ポリマー混和液/調合粉体/水 混合比	18kg/14kg/2kg	18kg/24kg/0kg	18kg/36kg/0.45kg
全固形分	70.0%±1.0%	80.0%±1.0%	84.5%±1.0%
硬化塗膜比重	1.4	1.5	1.5

防水材塗膜の品質

項目	(用途) (防水材)	屋外・屋内		水槽類・地下		
		100系配合	C-PF(補強布なし) 規格値	300系配合	500系配合	C-PU 規格値
引張強さ(N/mm)		1.5	0.6以上	2.5	2.8	1.0以上
破断時の伸び率(%)		240	100以上	80	37	30以上
ゼロスパン テンション 伸び量(mm)	標準	3.4	2.0以上	3.2	1.6	1.0以上
	劣化 処理後	3.3	1.5以上	-	-	-
	アルカリ処理	2.4	1.5以上	2.2	1.4	1.0以上
付着強さ (N/mm)	標準	1.9	0.5以上	2.2	1.5	0.7以上
	湿潤下地	1.8	0.5以上	2.4	1.2	0.7以上
	劣化 処理後	2.2	0.5以上	-	-	-
	アルカリ処理	2.6	0.5以上	2.5	1.1	0.7以上
透水量	浸水処理	2.2	0.5以上	2.4	1.1	0.7以上
	透水量	0.10	透水量0.5g以下	0.15	0.22	透水量0.5g以下
	漏水の有無	無し	漏水がないこと	無し	無し	漏水がないこと

1)規格値[C-PF(補強布なし)・C-PU]は、建築工事標準仕様書・同解説 JASS8 防水工事／日本建築学会による

2)試験方法:JASS 8 M-103-2022 ポリマーセメント系塗膜防水材

補強布を用いた防水材塗膜の品質

項目	ETメッシュ	ETメッシュ2	ETクロス	ETハイパーメッシュ	補強布入り規格値
ゼロスパンテンション 伸び量(mm)	標準	4.4	4.5	4.7	6.3
	劣化 処理後	3.2	3.0	3.9	5.4
	アルカリ処理	3.6	3.1	5.0	5.9
付着強さ(N/mm)	標準	1.8	1.8	1.8	0.5以上

1)規格値は、建築工事標準仕様書・同解説 JASS8 防水工事／日本建築学会による

2)試験方法:JASS 8 M-104-2022 補強布を用いたポリマーセメント系塗膜防水材

各種部材への付着とプライマーの選択

部材	ETプライマー	トモプライマー	塗ビシート用プライマー	備考
コンクリート	○	○	○	
モルタル	○	○	○	
鉛ドレン	○	○	—	
銅製ドレン	○	×	—	
鉄板	×	○	—	注意:トモプライマーで付着は可能だが、実用的には施工前に防錆処理しETプライマーを塗布
トタン	×	×	—	
硬質塩ビ	○	○	○	
アルミサッシ	○	○	—	
磁器タイル	○	×	—	付着は可能 取り合い程度に限る 全体施工の場合は下地の平滑処理が必要(下地処理)
ゴムシート	○	×	—	
塗ビシート	×	×	○	
ウレタン防水	○	×	—	注意:可塑剤の影響によりブリード汚染の可能性あり
ゴムアスファルト防水	○	×	—	
FRP防水	○	×	—	FRP表層を目粗し処理 小面積の対応
コロニアル	○	○	—	付着は可能 実用的には防水工法の設定がなく不可
シングル	○	○	—	付着は可能 実用的にはBBシステムのシングル屋根対応工法
砂付ルーフィング	○	○	—	付着は可能 実用的には下地の平滑処理が必要(下地調整)
シリバー塗料	×	×	—	

トモプライマー:防水材の主材と硬化材を水で希釈し用いるプライマー

※各種部材への付着性のみを評価しております。納まり等は各営業所にお問合せ願います。

耐薬品性

水槽用材料(工法)の貯蔵対象は水を主体とするものであります。各種薬品が混合された場合の耐性を調べた。
原料貯蔵タンク等への使用は防水材中の成分が微量溶け出す可能性があるので避けてください。

薬品	濃度	工法							
		301	302	500	501	502	EL-W	EL-WS	EG-CT
水	—	—	○	○	○	○	○	○	○
酸	塩酸	10%	×	×	×	×	×	○	○
	硫酸	10%	×	×	×	×	×	○	○
	酢酸	10%	×	×	×	×	×	×	○
アルカリ	水酸化ナトリウム(苛性ソーダ)	10%	×	×	×	×	○	○	○
	水酸化カルシウム	飽和	○	○	○	○	○	○	○
	セメント水	飽和	○	○	○	○	○	○	○
塩	食塩	飽和	○	○	○	○	○	○	○
殺菌剤	次亜塩素酸ソーダ	0.5ppm	○	○	○	○	○	○	○
	5ppm	○	○	○	○	○	○	○	○
	100ppm	○	○	○	○	○	×	○	△
溶剤	キシレン	100%	×	×	×	×	×	×	○
	エタノール	95%	×	×	○	○	×	×	○
鉱物油	マシンオイル	100%	○	○	○	○	○	○	○

【試験方法】モルタル板(70×70×20mm)上に各工法で防水塗膜を作成(n=2)、2週間養生後、防水塗膜表面以外の5面をエポキシ樹脂で塗り包み各薬品に6ヶ月間浸漬して状態変化を観察した。

評価方法：○:異常なし △:多少異常あり ×:異常あり(膨潤、ブリスター、浮き、劣化)

トップコートの耐摩耗性

各種仕上塗料の耐摩耗性を調べた。URの耐摩耗性試験よりも厳しい条件で行っていますが品質基準値(200mg以下)をクリアしています。

トップコートの種類	摩耗減量(mg)
ET-15(フラットトップ)	115
ET-25(トップコート)	115
ET-35(ウレタントップ)	珪砂なし
	珪砂あり
ET-45(シャイニートップ)	珪砂なし
	珪砂あり
BBトップクールAU(遮熱トップ)	珪砂なし
	珪砂あり

※試験方法:JIS K5600-5-9に準拠。摩耗輪:CS-17 荷重:1000g 摩耗回数:1000回 回転数:60rpm

上塗り材付着性

防水塗膜の上へ上塗り材を塗布して付着性を調べた。

工法	付着強さ(N/mm)		
	ET-100/ET-1号[9/7]	ET-300/ET-3号[9/12]	ET-500/ET-5号[9/18]
上塗り材	標準モルタル	1.0	1.1
	ETコート#600	1.1	1.4
	ETコート#800	1.4	1.4

上塗り材:標準モルタル(1/3モルタル) 塗厚:約5mm、ETコート#600 塗厚:約1.5mm ETコート#800 塗厚:約1.5mm

消火水槽用工法のアルカリ溶出試験

消火水槽用工法の503-EP工法と500工法のアルカリ成分の溶出試験を実施し溶質量の確認を行いました。

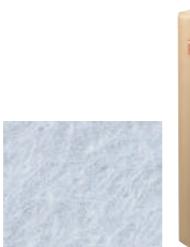
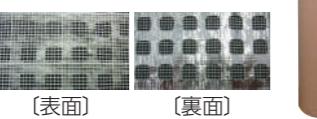
工法	503-EP工法		500工法	
Caイオン濃度(ppm)	検出されず	検出されず	3	
<tbl_info cols="5

製品性状

屋外・ 屋内用 防水材	エクセルテックス ET-100 主材 F ★★★★☆		32kg/セット ET-100 1缶 + ET-1号 1ケース	エクセルテックス ET-15 フラットトップ F ★★★★☆	標準色 	
	外観	白色乳濁液	粘度	1400mPa·s	アクリル樹脂の仕上塗料で非歩行部位の防水層の保護・化粧として使用します。	
	主成分	変性EVA*	エマルジョン		主成分	水系アクリル樹脂
	不揮発分	53%	※EVA:エチレン酢酸ビニル共重合樹脂		荷姿	15kg[缶]
					●骨材なし ●ツヤ消しタイプ	
水槽類・ 地下用 防水材	エクセルテックス ET-1号 硬化材 F ★★★★☆		エクセルテックス ET-25 トップコート F ★★★★☆	仕上塗料 		
	外観	灰白色無機質粉体		アクリル樹脂の仕上塗料で屋上・ベランダ・ルーフバルコニー等の防水層の保護・化粧として使用します。防滑仕上で耐摩耗性に優れベランダ等で人が歩行する箇所への使用も可能です。		
	主成分	特殊配合セメント (アルミナ系)		主成分	水系アクリル樹脂	
	荷姿	14kg[ケース]		荷姿	20kg[缶]	
				●骨材入り ●ツヤ消しタイプ		
水槽類・ 地下用 防水材	エクセルテックス ET-300 主材 F ★★★★☆		エクセルテックス ET-35 ウレタントップ F ★★★★☆	標準色 		
	外観	白色乳濁液	粘度	3000mPa·s	耐候性・美観性に優れたアクリルウレタン系の仕上塗料です。防滑仕上を必要とする施工部位にも専用珪砂を現場混合することで対応可能です。	
	主成分	変性EVA*	エマルジョン	主成分	水系アクリルウレタン樹脂	
	不揮発分	56%	※EVA:エチレン酢酸ビニル共重合樹脂	荷姿	16kg[缶]	
				●ツヤ有りタイプ	※軽歩行の施工部位にご使用の際は、珪砂(600g/袋)をご用意しております。発注時にご用命ください。	
水槽類・ 地下用 防水材	エクセルテックス ET-3号 硬化材 F ★★★★☆		エクセルテックス ET-45 シャイニートップ F ★★★★☆	標準色 		
	外観	灰白色無機質粉体		高光沢で美観性に優れ、ET-35よりも更に1ランク上の耐候性・耐薬品性を有する2液水系アクリルウレタン樹脂塗料です。		
	主成分	特殊配合セメント (アルミナ系)		主成分	2液水系アクリルウレタン樹脂	
	荷姿	12kg[袋]		荷姿	15kgセット[段ボールケース] ・主剤 13kg[缶] ・硬化剤 2kg[缶]	
				●ツヤ有りタイプ	※軽歩行の施工部位にご使用の際は、珪砂(600g/袋)をご用意しております。発注時にご用命ください。	
水槽類・ 地下用 防水材	エクセルテックス ET-500 主材 F ★★★★☆		BBトップクールAU 遮熱トップ	標準色 		
	外観	白色乳濁液	粘度	1500mPa·s	遮熱効果と耐候性に優れた2液水系アクリルウレタン系の仕上塗料です。防滑仕上を必要とする施工部位にも専用珪砂を現場混合することで対応可能です。	
	主成分	変性アクリル エマルジョン	荷姿	水系 高日射反射率塗料		
	不揮発分	55%		主成分	2液水系アクリルウレタン樹脂	
				荷姿	15kgセット[段ボールケース] ・主剤 13kg[缶] ・硬化剤 2kg[缶]	
水槽類・ 地下用 防水材	エクセルテックス ET-5号 硬化材 F ★★★★☆		遮熱塗料 			
	外観	灰白色無機質粉体		※軽歩行の施工部位にご使用の際は、珪砂(600g/袋)をご用意しております。発注時にご用命ください。		
	主成分	特殊配合セメント				
	荷姿	18kg[袋]				
プライマー	ETプライマー F ★★★★☆		ETプライマー 16kg[缶]・3kgポリ容器[ケース]	ETプライマー 3kgポリ容器[ケース]	標準色 	
	浸透性に優れているため、老朽化した旧塗膜等の補強効果と各種基材への接着性向上の効果があります。					
プライマー	主成分	カチオン性 アクリルエマルジョン				
	荷姿	16kg[缶]・3kgポリ容器[ケース]				

- 色見本の番号は日本塗料工業会2024年P版による色番号です。(グリーンのみ 2009年E版)
- この色見本は印刷によるもので、実際の色とは多少異なります。色見本帳をご参照ください。
- 上塗料の特注色は日本塗料工業会の色番号で発注してください。なお遮熱塗料は日射反射率50%以上の淡彩色に限り製造いたします。
納期、価格につきましては営業部までお問合せ願います。

製品性状

補強布	ETメッシュ	ETメッシュ2	ETコート#600 F ★★★★☆	
	防水層の補強効果に優れています。塗材の浸透が良くなっています。柔軟性があり立上り役物回りの処理も容易です。	防水層の補強効果に優れています。塗材の浸透が良くなっています。柔軟性があり立上り役物回りの処理も容易です。	A-1セット	A-2セット
	材質 ビニロン不織布+ガラス繊維 三軸組 荷姿 100m巻(巾102cm、10cm)	材質 ビニロン不織布+ガラス繊維 二軸組 荷姿 100m巻(巾104cm、10cm)		
				
	ETクロス	ETハイパーメッシュ	ETコート#800 F ★★★★☆	
	防水層の補強効果に優れています。	有機繊維として最高レベルの強度と弾性を有する高強力な補強布です。	ETコート#1000	
	材質 ポリエチル不織布 荷姿 100m巻(巾105cm、10cm)	材質 高強力ポリエチレン繊維 荷姿 100m巻(巾103cm) 25m巻(巾103cm)		
				
通気緩衝工法資材	TK通緩シート	TKBHテープ	EGエポモル	
	TKシステム専用の通気緩衝シート。シートの裏面は改質アスファルトの自着層となっており、表層は防水材との付着が良い不織布を採用しております。	TK通緩シートのジョイント処理用テープ。	2成分型のエポキシモルタルで下水道防食工事の素地調整に使用します。	エポキシライニング材を塗布する前に用いる、2成分型水性エポキシプライマーです。
	材質 改質アスファルト自着シート (表層)ポリエチル繊維不織布 荷姿 15m巻(巾104cm)	材質 ポリエチル特殊コーティングテープ(のり付き) ポリエチル繊維2軸組 補強層 荷姿 90mm巾×50m 2巻入[ケース]	主成分 (主剤)エポキシ樹脂 (硬化剤)変性脂肪族ポリアミン 荷姿 (主剤) 2.5kg (硬化剤) 2.5kg (粉体) 17.0kg	主成分 (主剤)エポキシ樹脂 (硬化剤)変性ポリアミン 荷姿 (主剤) 12kg[缶] (硬化剤) 3kg[缶]
			22kgセット[ペール缶]	15kgセット
	MTシート	TK補強メッシュ	EGコート#5000	
	MTシステム専用の通気緩衝シート。部分的に穴を開いている特殊シートの表面から防水材を塗布し、その穴を利用して下地へ付着させます。シート裏面のアルミフィルムが下地と絶縁することで、部分的な浮かし貼り状態となり通気溝を確保します。	TK通緩シートの端末部のテープ貼付け後の補強処理に使用します。	有機酸・無機酸等の耐薬品性に優れており、下水道事業団の防食ランクC-D種にガラス強化材なしで適用可能です。	EGコート#5000の仕上用(しきき塗り)です。
	材質 (表面)補強布ポリエチル (裏面)不織布+フィルム+アルミ箔 荷姿 50m巻(巾100cm)	材質 ネット状ビニロン繊維テープ (のり付き) 荷姿 140mm巾×50m 2巻入[ケース]	主成分 (主剤)エポキシ樹脂 (硬化剤)変性ポリアミン 荷姿 (主剤) 12kg[缶] (硬化剤) 3kg[缶]	主成分 (主剤)エポキシ樹脂 (硬化剤)変性ポリアミン 荷姿 (主剤) 12kg[缶] (硬化剤) 3kg[缶]
			15kgセット	15kgセット
下地調整材	NW接着剤	エポアンダー F ★★★★☆	施工可能面積	
	NWシステム専用の接着剤。	各種下地への付着性が良く、速強タイプなので翌日には防水材の施工が可能。また耐溶剂性にも優れており、ウレタン防水等の下地調整材としても使用できます。	塗布厚み 0.5mm厚 塗布量 0.83kg/m ² 1セットあたり 33.7m ²	塗布厚み 0.5mm厚 塗布量 1.66kg/m ² 1セットあたり 16.8m ²
	主成分 アクリル樹脂 荷姿 18kg[缶]	主成分 (主剤)特殊ポリマー (水性エポキシ樹脂・カチオン性アクリル樹脂) (硬化剤)変性脂肪族ポリアミン (粉体)特殊配合セメント		
		荷姿 (主剤) 4kgポリ容器 (硬化剤) 4kgポリ容器 (粉体) 20kg袋	付着性	付着強度 (N/mm) 下地部材 乾燥 2.92 コンクリート 濡潤 2.35 クリンカータイル 2.96 エポキシ床材 3.32 ウレタン床材 2.77
	NWテープ	EGコート#5100	付着性	
	NWシートのジョイント部の補強処理に使用します。	有機酸・無機酸等の耐薬品性に優れており、下水道事業団の防食ランクC-D種にガラス強化材なしで適用可能です。	下地部材 付着強度 (N/mm) コンクリート 乾燥 2.92 クリンカータイル 2.96 エポキシ床材 3.32 ウレタン床材 2.77	下地部材 付着強度 (N/mm) 下地外壁 乾燥 2.92 ピット等 濡潤 2.35 下地外壁 2.96 下地外壁 3.32 下地外壁 2.77
	材質 不織布テープ(のり付き) 荷姿 50mm巾×50m 2巻入[ケース]	主成分 (主剤)エポキシ樹脂 (硬化剤)変性ポリアミン 荷姿 (主剤) 12kg[缶] (硬化剤) 3kg[缶]		
			15kgセット	15kgセット

製品性状

ELコート#3000	ELコート#3100
ビスフェノールF型のエポキシパテで飲料水槽に適応します。 主成分 (主 剤)エポキシ樹脂 (硬化剤)変性ポリアミン 色 グレー 荷 姿 (主 剤)20kg(缶) (硬化剤)10kg(缶) 30kgセット	ビスフェノールF型のエポキシ塗料で飲料水槽に適応します。 主成分 (主 剤)エポキシ樹脂 (硬化剤)変性ポリアミン 色 ブルー 荷 姿 (主 剤)20kg(缶) (硬化剤) 5kg(缶) 25kgセット
ELコート#4000	ELコート#4100
エポキシパテで飲料水槽に適応します。 主成分 (主 剤)エポキシ樹脂 (硬化剤)変性ポリアミン 色 グレー 荷 姿 (主 剤)20kg(缶) (硬化剤)10kg(缶) 30kgセット	エポキシ塗料で飲料水槽に適応します。 主成分 (主 剤)エポキシ樹脂 (硬化剤)変性ポリアミン 色 グレー・ブルー 荷 姿 (主 剤)20kg(缶) (硬化剤) 4kg(缶) 24kgセット
ELコート#4100シンナー	ELコート#4200
ELコート#4100専用の希釈剤です。 荷 姿 15kg(缶)	耐候性に優れたアクリルウレタン塗料です。 主成分 (主 剤)アクリルウレタン樹脂 (硬化剤)イソシアネート 色 グレー・ブルー 荷 姿 (主 剤)20kg(缶) (硬化剤) 4kg(缶) 24kgセット
ELコート#4200シンナー	ELボンドSA
ELコート#4200専用の希釈剤です。 荷 姿 16kg(缶)	JWWA K 143 浸出試験に適合する粘土状手練りタイプの充填剤です。水に濡れた面や水中でも硬化し優れた接着性能を発揮します。コンクリート・各種パイプとの付着性に優れ、クラック補修・パイプ回りの充填処理に最適です。 主成分 エポキシ樹脂系粘土状接着剤 荷 姿 (主 剤) 5kg(缶) (硬化剤) 5kg(缶) 10kgセット

■ ELボンドSAの各種下地・各種塗膜への付着性

	ELボンドSA	備考
コンクリート	○	—
硬質塩ビパイプ	○	—
鉄管	○	—
ET-300/ET-3号 防水塗膜	○	—
ET-500/ET-5号 防水塗膜	○	—
ETコート#600 塗膜	○	301工法、501工法の保護材
ETコート#800 塗膜	○	302工法、502工法の保護材

■ ELボンドSAへの付着性(ELボンドSAの上に施工する場合)

	ETプライマー	ET-300/ET-3号防水材	ET-500/ET-5号防水材	ELコート#3000	ELコート#3100	ELコート#4000	ELコート#4100	ELコート#4200
ELボンドSA	○	○	○	○	○	○	○	○

改修工事に使用するメリット



従来型の有機溶剤系塗膜防水材は、複雑部位への施工が容易でシームレスメンブレンで確実に施工でき、しかも軽量化などのメリットがありますが、ポリマーセメント系塗膜防水のエクセルテックス防水はそのことに加え、水系の材料構成であるためVOC(揮発性有機溶剤)を大気中に放出しません。また、有機溶剤系の刺激臭もなく火気も使用しませんで「安心・安全」です。近年、環境対応への要望によりエクセルテックス防水の通気緩衝工法による屋上防水工事の採用が増えており、公営住宅・学校・病院・老人ホーム・住環境下のマンション等で実績を積み重ねてあります。

- ① 下地の種類による適応範囲が広く所謂「かぶせ工法」が可能です。
 - ④ 従来型の仕上塗料の他に耐候性・美観性に優れた仕上塗料や遮熱塗料を用意しています。
 - ② 下地形状を問わず様々な屋根に施工可能です。
 - ⑤ 施工時に刺激的な溶剤臭がなく、現場作業時の臭気による問題を解消できます。
 - ③ 屋上等には通気緩衝シートとの組合せにより、信頼度の高い防水層を形成します。
 - ⑥ 耐久性に優れ、10年以上経っても防水層の劣化は小さく塗り重ねにより防水機能が回復します。
- 通気緩衝シートの種類
- TK通緩シート(改質アスファルトシート)
 - MTシート(特殊構造シート)
 - NWシート(不織布シート)

※下地調整材として適用範囲が広く付着力に優れた「エポアンダー」をご用意しております。

厚生労働省の「室内空気ガイドライン」に定められた13の化学物質

対象物質	エクセルテックス
ホルムアルデヒド	フタル酸ジ-n-ブチル
トルエン	テトラデカン
キシレン	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル
パラジクロロベンゼン	ダイアジノン
エチルベンゼン	アセトアルデヒド
スチレン	フェノブカルブ
クロルピロホス	—

対象物質は配合設計計画に含まれず
製造工程時及び施工時においても
使用していません

その他関連製品

エクセルテックス 塩ビシート用プライマー

既存の塩ビシートや塩ビ配管に塗布することでエクセルテックス防水材の施工が可能です。

主成分 塩化ビニル-酢酸ビニル共重合樹脂

荷 姿 15kg(缶)

標準塗布量 0.15kg/m²(エクセルテックス各工法のプライマー工程に使用)



危 4-1

EX-仮防水(仮防水兼下地調整材)

F ★☆☆☆

改修工事の既存防水層撤去時に、その工事期間中の漏水リスクを減らす目的で使用するポリマーセメント系の仮防水材兼下地調整材です。
施工可能面積:1.6kg/m²の塗布量で26.25m²、0.8kg/m²の塗布量で52.5m²

【EX-仮防水 混合液】

主成分 変性EVAエマルジョン

外 観 白色乳濁液

不揮発分 54%

粘 度 1000mPa·s

荷 姿 18kg缶

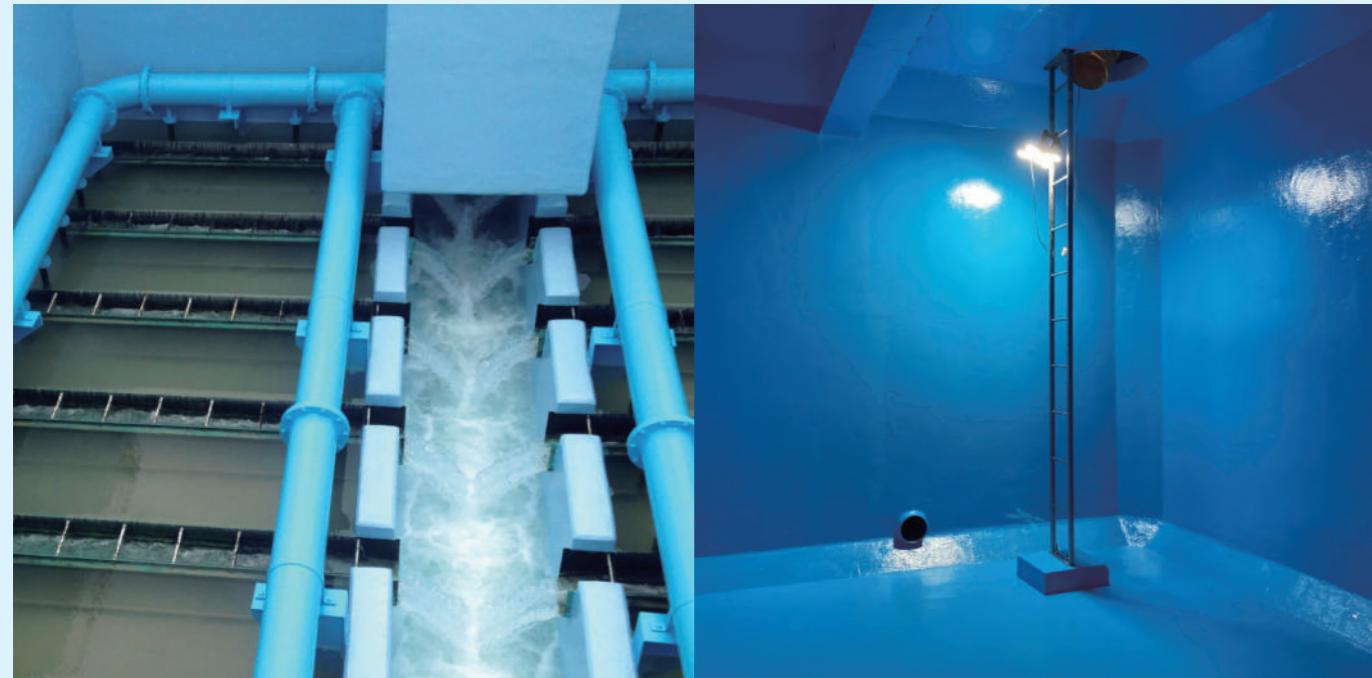


EX-仮防水 42kgセット(混合液1缶・粉体2袋)

ELシステム [エポキシライニング]

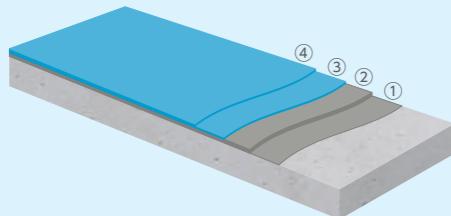
上水用防食工法

水道用コンクリート水槽内面エポキシ樹脂塗装方法 / JWWA K 143:2017
水道施設の技術的基準を定める省令



EL-W工法

EL-W工法に使用する 無溶剤型のエポキシ樹脂塗料は、原料に内分泌搅乱作用を有すると疑われる環境ホルモンのビスフェノールAを含有せず、塗装を行う作業者への安全と水道施設の環境保全に配慮したものです。

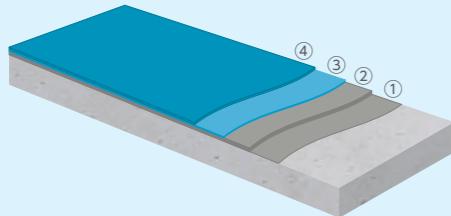


工程	使用製品	kg/m ²	塗り重ね時間(20°C)	塗装方法
①素地調整	ELコート#3000	0.40	12時間以上~7日以内	金ゴテ ゴムベラ
②素地調整	ELコート#3000	0.40	12時間以上~7日以内	金ゴテ ゴムベラ
③エポキシ塗料	ELコート#3100	0.20	16時間以上~7日以内	ローラー ゴムゴテ
④エポキシ塗料	ELコート#3100	0.20	16時間以上~7日以内	ローラー ゴムゴテ

(7日以上養生)

EL-WS工法

EL-WS工法は、強靭なエポキシ樹脂ライニング層の上に耐候性に優れたアクリルウレタン塗料を用いることで太陽光のあたる屋外コンクリート施設に使用できます。



工程	使用製品	kg/m ²	塗り重ね時間(20°C)	塗装方法
①素地調整	ELコート#4000	0.40	12時間以上~7日以内	金ゴテ ゴムベラ
②素地調整	ELコート#4000	0.40	12時間以上~7日以内	金ゴテ ゴムベラ
③エポキシ塗料	ELコート#4100	0.20	16時間以上~7日以内	ローラー ゴムゴテ
④アクリルウレタン塗料	ELコート#4200	0.20	12時間以上~7日以内	ローラー ゴムゴテ

(7日以上養生)

施工可能面積(m²)

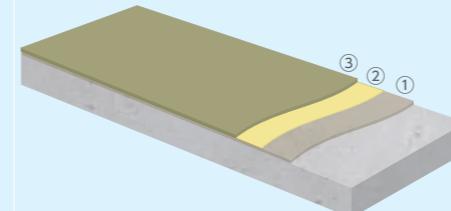
工 法	ELコート3000 (1セット)	ELコート3100 (1セット)	ELコート4000 (1セット)	ELコート4100 (1セット)	ELコート4200 (1セット)
EL-W	37.5	62.5	—	—	—
EL-WS	—	—	37.5	120	120

下水用防食工法

下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル適合／日本下水道事業団
有機酸・無機酸等の耐薬品性に優れた無溶剤型エポキシ樹脂塗料を用いて、
下水道コンクリート構造物の腐食防止対策として使用するノンクロスのエポキシライニングシリーズです。

EG-AT工法

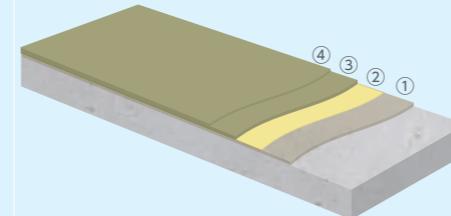
塗布型ライニング工法の設計及び品質規格 A種適合(日本下水道事業団)



工程	使用製品	kg/m ²	塗り重ね時間(20°C)	塗装方法
①素地調整	EGエポモル	1.00	12時間以上~14日以内	金ゴテ
②プライマー	EGエポプライマー	0.15	16時間以上~7日以内	ローラー
③シゴキ塗り	EGコート#5100	0.40	12時間以上~7日以内	金ゴテ ゴムゴテ (7日以上養生)

EG-BT工法

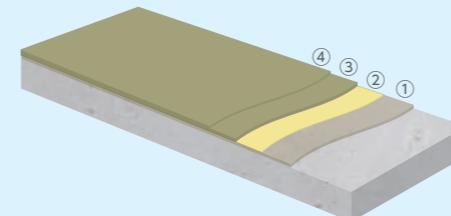
塗布型ライニング工法の設計及び品質規格 B種適合(日本下水道事業団)



工程	使用製品	kg/m ²	塗り重ね時間(20°C)	塗装方法
①素地調整	EGエポモル	1.00	12時間以上~14日以内	金ゴテ
②プライマー	EGエポプライマー	0.15	16時間以上~7日以内	ローラー
③シゴキ塗り	EGコート#5100	0.20	12時間以上~7日以内	金ゴテ ゴムゴテ
④シゴキ塗り	EGコート#5100	0.40	12時間以上~7日以内	金ゴテ ゴムゴテ (7日以上養生)

EG-CT工法

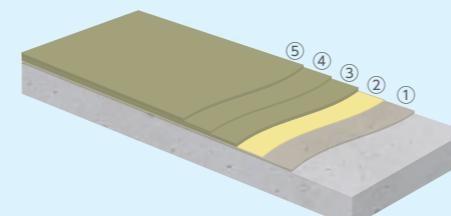
塗布型ライニング工法の設計及び品質規格 C種適合(日本下水道事業団)



工程	使用製品	kg/m ²	塗り重ね時間(20°C)	塗装方法
①素地調整	EGエポモル	1.00	12時間以上~14日以内	金ゴテ
②プライマー	EGエポプライマー	0.15	16時間以上~7日以内	ローラー
③上塗り	EGコート#5000	0.80	12時間以上~7日以内	金ゴテ ゴムゴテ
④シゴキ塗り	EGコート#5100	0.40	12時間以上~7日以内	金ゴテ ゴムゴテ (7日以上養生)

EG-DT工法

塗布型ライニング工法の設計及び品質規格 D種適合(日本下水道事業団)



工程	使用製品	kg/m ²	塗り重ね時間(20°C)	塗装方法
①素地調整	EGエポモル	1.00	12時間以上~14日以内	金ゴテ
②プライマー	EGエポプライマー	0.15	16時間以上~7日以内	ローラー
③上塗り	EGコート#5000	0.80	12時間以上~7日以内	金ゴテ ゴムゴテ
④上塗り	EGコート#5000	0.80	12時間以上~7日以内	金ゴテ ゴムゴテ
⑤シゴキ塗り	EGコート#5100	0.40	12時間以上~7日以内	金ゴテ ゴムゴテ (7日以上養生)

施工可能面積(m²)

工 法	EGエポモル (1セット)	EGエポプライマー (1セット)	EG-5000 (1セット)	EG-5100 (1セット)
EG-AT				37.5
EG-BT	20.0		—	25.0
EG-CT			18.75	
EG-DT			9.375	37.5

●温度 5 ~ 35°C以内、湿度 85%以内で塗布面に結露がないことを確認の上、施工を行ってください。
●塗り重ね間隔を守り、各工程の乾燥を確認し次の工程に入ってください。

●湿度の高い密閉空間では除湿機等により、除湿してください。
●詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

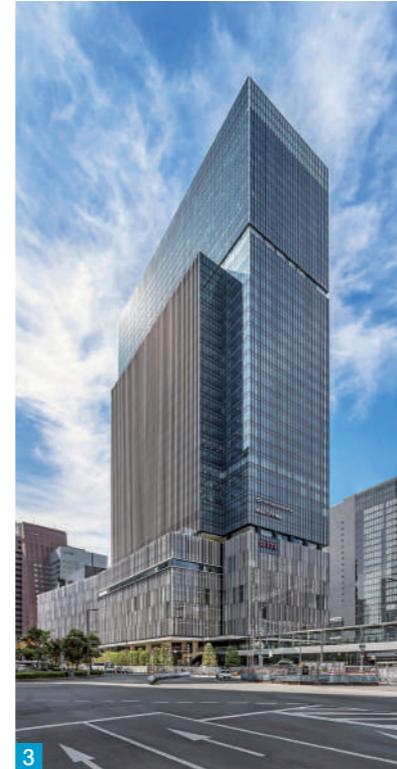
●温度 5 ~ 35°C以内、湿度 85%以内で塗布面に結露がないことを確認の上、施工を行ってください。
●塗り重ね間隔を守り、各工程の乾燥を確認し次の工程に入ってください。

●湿度の高い密閉空間では除湿機等により、除湿してください。
●詳しい施工方法については、別途、施工要領書をご参照ください。

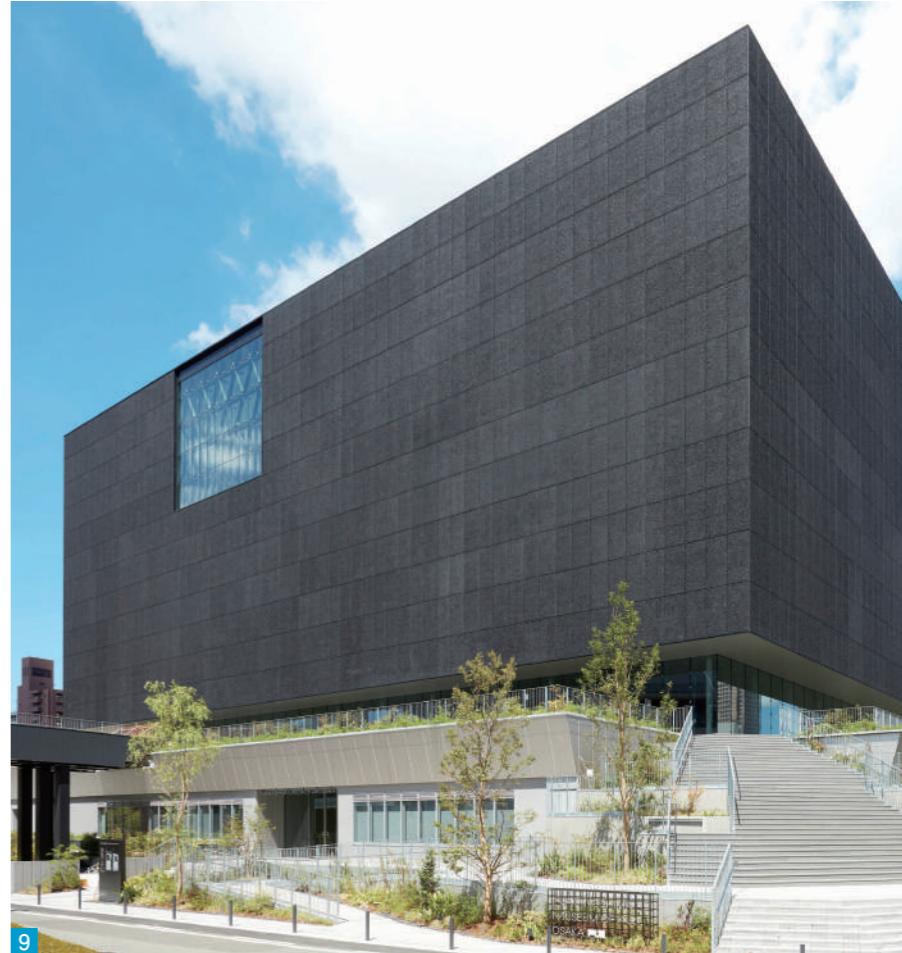
実績例



1 濱島ウミカジテラス (沖縄県) 地下外壁:300工法
2 横浜ベイコート (神奈川県) 消火水槽:301工法
3 J Pタワー大阪 (大阪府) PHOTO Akira Ito / afoto
4 梅田阪急ビル (大阪府) メレ:100工法



9 大阪中之島美術館 (大阪府)
免震槽・消火水槽:301工法、1Fスラブ・腰壁:105工法、污水槽:EG-CT工法
10 豊田市博物館 (愛知県) 内部:106F工法、厨房:100工法、水槽:500工法



※本カタログの内容は予告なく変更する事がありますのでご了承ください。